

# 平成28年度 事業点検評価報告書

津和野町教育委員会

## 平成 28 年度 津和野町教育委員会事業点検評価報告

### ○総務事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
教育委員会の開催	教育行政に関する重要な事項について審議決定する。	教育委員 4 名 教育長 1 名	年 13 回	津和野町役場津和野庁舎及び津和野町民センター	1,564	1,478	基本的に毎月 1 回開催している。規則・要綱等の制定や改正の他、要保護・準要保護の認定、津和野町の教育施策の方針決定など、重要な課題に取り組んだ。

### ○教育施設整備事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
教育施設・設備修繕	各学校、給食センター、教員住宅等、教育施設の管理上支障のある箇所および設備・備品について修繕を行う。	随時	各学校・教育施設	5,817	5,817	使用に支障を来たす施設・設備の修理・修繕を実施し、適正な管理に努めることができた。
耐震補強・改修設計・監理	日原小学校屋内運動場天井撤去・側溝改修工事の設計業務委託。	4 月～7 月	日原小学校屋内運動場	524	524	前年度よりの繰越事業として日原小学校屋内運動場天井撤去・側溝改修工事設計業務を委託し、工事の適正な監理を行うことができた。
耐震改修工事	安全で安心な学校施設の設置を目的に日原小学校屋内運動場天井撤去・側溝改修工事を行う。	4 月～6 月	日原小学校屋内運動場	35,000	33,448	前年度よりの繰越事業として日原小学校屋内運動場天井撤去・側溝改修工事を実施し、町内の学校施設の耐震化が全て完了した。
耐震補強・改修設計・監理	日原山村開発センターの耐震改修工事の設計及び管理業務。	5 月～3 月	日原山村開発センター	9,299	9,299	日原山村開発センターの耐震改修工事の設計及び監理を委託したが本体工事の中止により、その対応が必要となったが適正な設計・監理を行うことができた。
耐震改修工事	安心で安全な施設整備に向け、日原山村開発センターの耐震改修工事を行う。	12 月～3 月	日原山村開発センター	13,390	13,390	日原山村開発センターの耐震改修工事に着手したが、工事の調査の際、建物全体のスラブに施工不良が認められ、工事を中止することになった。

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
社会教育施設・設備修繕	各社会教育施設の管理上支障のある箇所について修繕を行う	随時	各社会教育施設	7,067	7,067	施設の老朽化に伴い、施設運営に支障を来す施設の修繕工事を実施し、施設の改善を図ることができた。
社会教育施設トイレ改修工事	社会教育施設のトイレ改修工事を行う。	10月～11月	寺田集会所	3,402	3,402	寺田集会所について、下水道接続工事及びトイレ改修工事を実施。施設の環境衛生の向上を図ることができた。

○学校教育事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
スクールカウンセラー	学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、児童・生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者をSCとして各中学校に配置し、児童・生徒への指導を充実させる。	児童・生徒 保護者 教職員	年間	各小・中学校	県費	—	問題を抱えた児童・生徒について、支援チームの一員として専門的な立場からの分析や対応のアドバイスがあり、それにより教職員が現状を客観視することができ、ステップアップを図ることができた。
津和野町特別支援連携協議会	障がいのある幼児・児童・生徒に対し関係機関が連携して支援するための体制整備・情報交換を行う	各関係機関の関係者	協議会 年1回 研修会1回 支援会議・相談 年間	津和野庁舎大会議室 津和野町民センター 一講義室	0	0	特別支援が必要な幼児・児童・生徒に対し、個別の支援体制を構築した結果、より良い対応ができた。
特別支援教育学習支援員	通常の学級に在籍するADHD、LD、高機能自閉症等、特別支援の必要な児童・生徒に対し、学校での授業や生活の支援を行い、スムーズな学校生活が出来るようにする。	児童・生徒 教員	年間	津和野小学校 日原小学校 津和野中学校 日原中学校	4,215	4,215	支援員を配置することで、支援を要する児童・生徒、及び学級全体が落ち着いて学校生活を送ることが出来るようになった。 また、学級の他の児童・生徒への支援にもつながり、学級全体の落ち着きや学習意欲の向上、仲間作り等に良い影響を与えることとなった。 課題：支援を必要とする児童・生徒が年々増加する傾向にあり、優秀な支援員の継続的な確保が必要となる。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題															
津和野町教育支援委員会	障がい等のある幼児・児童・生徒に対する適切な就学について、指導・助言し、特別支援教育の充実を図る。	教育支援委員会委員	7月5日 9月27日	町民センター講義室	35	35	相談対象者4名 学校と専門委員がしっかりと事前調査等を行うことにより、スムーズな審議となった。 本委員会への審議対象となるべき児童・生徒で保護者の理解が得られないケースが見受けられていたが、校内委員会の結果をもとに十分な説明を行うことにより全ての保護者から理解を得て審議することができた。															
語学指導等を行う外国青年招致事業（ALT派遣）	外国語教育の充実と国際理解の推進を図るため、ALT（英語指導助手）を各学校へ派遣し、英語の授業の補助等を行う。	各小・中学校	年間	各小・中学校	4,934	4,750	本事業により、中学生の「聞く・話す」能力の向上、および英語によるコミュニケーション能力の向上、また、小学校5、6年生の英語教育の充実を図るとともに、小学生の英語学習への興味関心や英語音声面での技能の向上、日本人英語教師の英語力の向上など、効果は大きい。 課題：「聞く・話す」能力を向上するため、小学校4年生以下の児童に対し、英語と触れ合う機会を多くする必要がある。															
各種検査事業	毎学年定期的に、児童・生徒及び教職員の健康診断を行なう。 健康診断の結果に基づき、疾病の予防処置を行い、または治療を指示する。健康保持推進を図り、学校教育の円滑な実施と成果の確保に資する。	児童・生徒 教職員	年間	各医療機関	1,166	1,124	定期的に、児童・生徒及び教職員の健康診断を行なう。健康保持推進を図り、学校教育の円滑な実施と成果の確保が図られた。定期健診以外にも次の健診を行った。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>駅伝前検診</td> <td>健康診断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒 57人</td> <td>教職員 45人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>心電図（小4・中全）</td> <td>尿検査（全校）</td> <td>血液検査（小4～）</td> </tr> <tr> <td>児童 39人</td> <td>児童 266人</td> <td>児童 112人</td> </tr> <tr> <td>生徒 145人</td> <td>生徒 147人</td> <td>生徒 130人</td> </tr> </table>	駅伝前検診	健康診断		生徒 57人	教職員 45人		心電図（小4・中全）	尿検査（全校）	血液検査（小4～）	児童 39人	児童 266人	児童 112人	生徒 145人	生徒 147人	生徒 130人
駅伝前検診	健康診断																					
生徒 57人	教職員 45人																					
心電図（小4・中全）	尿検査（全校）	血液検査（小4～）																				
児童 39人	児童 266人	児童 112人																				
生徒 145人	生徒 147人	生徒 130人																				
就学前眼科検診	就学前の希望する児童に対し眼科医の検診を行い、弱視等の早期発見、早期治療に結びつける。	就学前児童	10月～11月	この眼科医院	80	62	通常の就学前検診では見つかりにくい弱視等の検査を行い、学校入学前に早期発見することにより治療等を行うことが出来、有意義な事業となっている。実績：31人受診 課題：一層受診率を高めるため保護者への啓発をする必要がある。															

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
各種大会派遣事業	中学校の部活動において、町外の大会へ参加する生徒の旅費等を助成する。	各中学校	年間	県大会等	986	986	参加費等の一部助成を行ない、生徒の競技力向上と、保護者の経費負担軽減を図ることができた。 課題：生徒の人数減少に伴い、参加競技数が限られるとともに、今後団体競技の参加が困難な状況が予想される。
にこにこサポート事業	小学校の通常の学級に在籍するADHD、LD、高機能自閉症等特別な教育的支援を必要とする児童に対し、非常勤講師を配置し、生活や学習上の支援を行う。(県事業)	津和野小学校 青原小学校	年間	津和野小学校 青原小学校	県費	—	学校及び担任とサポートティーチャー、保護者の連携により、適切な指導ときめ細かな支援が行われ、不適応を起こすことなく学校生活を送ることができた。 また、サポートティーチャーの存在は、学級の他の児童への支援にもつながり、学級全体の落ち着きや学習意欲の向上、仲間作り等に良い影響を与えている。 課題：支援を必要とする児童が年々増加する傾向にある。県費事業であり、必要対象児童数に対し配置人数が不足しているため、今後は町費での対応を考えて行かなければならない。
全国学力・学習状況調査	全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。	小学校6年生 中学校3年生	4月19日	全小中学校	0	0	4月19日、町内の全小・中学校で実施された。 ○小学校 国語：A・B問題共に、県・全国を上回る。 算数：A問題は県・全国を上回る。 B問題は県・全国を下回る。 ○中学校 国語：A・B問題共に、県・全国を上回る 数学：A・B問題共に、全国をやや下回る A問題は主として知識を、B問題は主として活用をはかる。 国語については、小・中学校共に県・全国を上回っており、各校にて指導の改善が行われ、児童生徒が着実に学力をつけた表れだと考える。一方、算数・数学においてはB問題（活用）に課題が見られる。児童生徒の思考力・判断力・表現力を育てる授業の改善が必要である。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
島根県学力調査	各教科の学習状況等を把握し、今後の教育施策の充実及び学校における指導の改善を図る。	小学校3～6年生 中学校1～2年生	12月13・14日	各小・中学校	159	159	<p>4月に行われた全国学力調査の結果を元に、各校において対策を立て、実践したことをはかる本県学力調査。県平均と比較して、学年による差異があった。小学校においては、5年生が全教科県平均を下回った。この結果を真摯にとらえ、原因の解明にあたり、さらなる授業改善を各校と共に進めていきたい。中学校においては、英語科に課題が見られた。教師主導型の授業ではなく、生徒が主体的に取り組み、コミュニケーション活動を通して学びを深めていくように、授業を改善する必要があると考える。</p> <p>また、自主的に自校採点を行う学校が出てきており、早期対応への意識が高まっている。</p> <p>意識調査について、昨年度同様、小中学校ともメディア接触の時間が長いのが一番の課題である。 小学校3・4年生(国・算) 5・6年生(国・算・理・社) 中学校1・2年生(国・数・理・社・英)</p>
スクールソーシャルワーカー活用事業	児童・生徒の問題行動や心のケア、生徒が置かれている環境等に対し、関係機関等との連携により支援を行う。	町内幼児・児童・生徒	年間	各小・中学校・保育園・高校	4,994	4,994	<p>教育委員会を拠点とし、「つわのっ子応援事業」として福祉的なアプローチで学校・家庭・地域に働きかけながら、問題解決に取り組み、様々な課題を持つ子どもへの支援を行った。</p> <p>学校での相談・支援だけでなく関係機関と連携をとり、縦と横の連携で支援をすることができた。また、子どもの抱える課題の早期発見、早期対応ができる関係作り、体制作りにも努めた。</p> <p>スーパーバイザーよりケース会議及び学校訪問時等での指導助言を受けることにより支援の強化を行った。 課題：事業9年目であるが、SSWの必要性は年々高まっている。今後、対応時間の増が必要である。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
近県学校音楽大会	大会を通じ、近県の学校間の交流と、学校の音楽教育の充実を図り、兼ねて情操教育の推進を目的に実施。	島根県・山口県内小・中・高校生	11月13日	町民センター体育館	708	708	近県学校音楽大会は本年度で67回目となり、小学校・中学校・高等学校合わせて、29校、418人が参加。6部門に90曲のエントリーがあった。町長賞・議長賞・教育長賞のほか、審査員特別賞が1組に贈られた。 また、審査員でクラリネット奏者の近藤千花子さんのミニコンサートを開き、生の演奏を児童・生徒が鑑賞した。参加校・参加者共に年々増加傾向にあり、大会への関心の高さがうかがえる。 課題：時間調整等、スムーズな運営ができるよう体制づくりが課題である。
みんなのまちづくりプロジェクト事業	児童生徒が身近な地域を素材とし、「現状把握～創造～実践」といったサイクルの中で、学ぶことの意義や学びと社会のつながりを実感できるプロジェクト学習を展開し、学習意欲、知的好奇心といった「学ぶ力」を育むことをめざす	津和野中学校区児童生徒	平成28～29年度	津和野中学校 津和野小学校 木部小学校	1,000	1,000	県委託事業として津和野中学校区3校が連携し、ふるさと学習との系統性・計画性な学びを強く意識しながら取り組んだ。 児童生徒自らが地域の良さや課題を知り、地域に対してできることを考え、学んでいる学習内容と地域・社会を結びつけた各種活動を実施した。 事業の実施により、児童生徒のふるさと意識調査から津和野町（ふるさと）に対する肯定的な意識が高まった。特にふるさとへ貢献したいという意識が大きく向上した。 課題：小中連携の意識が各校担当者の中では高まったが、全教職員の意識化をさらに進めていく必要がある。また、作成した「学びの系統図」を活かし、教科の学びがしっかり活かされるように各学校で共通理解を図り、計画的に行っていく必要がある。

## ○津和野町育英奨学金事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
津和野町奨学生選考委員会	奨学金貸与希望者の選考をした。	選考委員 (5名)	2月1日	津和野庁舎大会議室	3	2	平成29年度の奨学生を募集し選考をした。8名の申請者があり、経済状況等を考慮しながら選考していった結果、8名全員に貸与する決定をした。 課題:基金で運営しているため、今後多数の申請者が続いた場合に基金が枯渇しないよう貸与人数を年次計画的に制限する必要がある。
津和野町育英奨学金	経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学金を貸与し、もって有能な人材を育成することを目的とする。	町内高校生・専門学校生及び大学生(13名)	年間		5,040	5,040	貸与者は13名で、内新規貸与者は2名。 課題:景気が低迷する中で、学校卒業後の就職ができず、返納の猶予相談が出始めている。
小藤育英奨学金		町内高校生・専門学校生及び大学生(1名)	年間		360	360	貸与者は1名で、内新規貸与者は0名。 課題:景気が低迷する中で、学校卒業後の就職ができず、返納の猶予相談が出始めている。

## ○学校給食事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
学校給食	小・中学校の児童・生徒・教職員に対し、給食の提供を行う。	小・中学校の児童・生徒・教職員	年間	津和野町給食センター・日原共同調理場	71,917	71,541	町食材費補助金を一食あたり25円充当することにより、給食費の保護者負担額を小学校265円/食・中学校295円/食とし、円滑な給食運営を行うことができた。対象人数485人に対し、食数は延べ89,933食の給食を提供した。食育では、給食献立の中に「おいしい津和野の日」を取り入れ地場産物や郷土に伝わる料理について食文化に触れることができた。また、アレルギー対応の給食提供もできた。 課題:野菜価格が高くなる時期があり、現状の給食費ではメニューに支障がでる恐れがある。

## ○社会教育事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
社会教育委員の会	社会教育に関する研究調査・諸計画の立案を行い、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。	社会教育委員 (10名)	6月24日 10月25日 2月13日	山村開発センター 津和野庁舎 津和野庁舎	388	291	社会教育委員から提出された答申「公民館組織のあり方及び公民館の職員体制について」に基づいた「津和野町立公民館組織体制等基本計画」を社会教育委員からも意見を出しながら進めて行くことができ、統合を計画していた枕瀬分館、滝元分館を地域の協力のもとで統合することができた。今後はもう1つの統合計画箇所である池河公民館、商人溪村分館を進めて行く。
公民館長・主事会議	公民館事業の効果的運営を図るため公民館・教育委員会相互の情報交換を行う。	公民館長・主事・教育委員会事務局職員	5月16日 10月18日 12月19日 3月30日	山村開発センター 町民センター 津和野庁舎 津和野庁舎	58	10	各館の事業計画や、事業の進め方、連携した取り組みについて協議し、公民館同士の連携を図ることができた。課題：公民館が地域課題解決のため地域の核となるよう、積極的な情報交換が必要である。(館同士、教委と館、地域間のコーディネーター役等)
公民館職員研修(町教委主催)	公民館職員の行政事務及び社会教育施設の職員としての企画立案能力のスキルアップを図る。	公民館長・主事	7月20日	町民センター			益田鹿足公民館協議会振興大会の主管が津和野町立公民館であり、日本遺産認定をテーマに開催することとしていたため、「百景図を歩く」の活用について学んだ。地域の宝を見つける目を養い、事業展開をできるようなプログラミング技術を身につけることを目的とした。今後さらなる研修を計画、実施することにより、公民館において充実した企画立案が可能となると考える。
成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする成人の皆さんを祝い励ます。	成人者 (対象者：80名内出席者53名)	1月3日	町民センター	227	205	平成26年成人式からCATVニュースをまとめたDVD上映を鹿足郡事務組合の協力により行っており、茶話会前におけるやわらかい雰囲気を作れている。同じ企画ではあるが、対象者が毎年異なるため、今後も継続していきたい。 課題：近隣市町村では新成人における実行委員会体制を取っているところもあり、少しでも新成人による企画立案による茶話会が運営できると社会教育の場としての意味がさらに出てくる。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
派遣社会教育主事派遣事業	市町村における社会教育行政及び生涯学習振興行政の推進を図るため、県教育委員会が町教育委員会に対して社会教育主事を派遣する。	派遣社会教育主事	年間	町内	2,272	2,246	派遣社会教育主事は「学校・家庭・地域が連携協力した子どもの教育の関わる環境づくりの推進」、「島根の地域の特性を生かしたふるさと教育の推進」及び「地域づくりを担う人づくりの推進」の3つを職務とするため、当町においては津和野町「学びの協働」推進事業を進めることで、全てを網羅できた。 課題：町の社会教育主事と派遣社会教育主事が連携して各種の事業を進めていかなければならない。
森鷗外記念館協議会	森鷗外記念館の運営及び事業の計画・実施について審議。	協議会委員(6名)	5月21日	森鷗外記念館	279	279	前年度の入館状況、事業等の実施状況の報告と当該年度の事業計画の協議を行った。入館者に対するサービスとして、ボランティアガイドや外国人向け対策等の有意義な意見が出された。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
津和野町「学びの協働」推進事業 (財源：県結集!しまねの子育て協働プロジェクト補助金事業及び町単独)	「子どもを中心として家族のような関係性でつながる地域」を目指して「ふるさと(地域)は大きな家族」をスローガンに、ふるさとを支える人材を育成する。  国の「学校支援」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」の3事業と県ふるさと教育を合わせた町独自事業。 県事業「結集!しまねの子育て協働プロジェクト補助金事業」により運営。	各小・中学校 公民館 等	年間	各小・中学校 公民館 等	1,009	1,009	学校支援では専任コーディネーターが地域講師と学校とを繋ぐ役割を果たし、ふるさと教育推進事業も一体となって、連携しながら社会教育の核となる事業を展開することができた。今後も学校・家庭・地域の連携を図っていくため、地区ごとに公民館(専任コーディネーター)と担当の教員が年間の計画をすり合わせ、情報を交換するための協議を行うことができた。 課題：今後は、まちづくり委員会や県の提唱する「小さな拠点づくり」の考え方、また、教育魅力化等とどう融合させていくか、連携・協働していくかが総合戦略の人口ビジョンを達成するためのキーポイントとなる。この事業は社会教育の柱となる事業であり、総合戦略の内のひとづくりにあたる。「学びの協働」推進事業を進めていくことが町におけるひとづくりを進め、さらにひとが町をつくるという流れを構築することができると考えられるため、社会教育事業の多くを本事業に絡めて特に力をいれて推進していく必要がある。

## ○社会体育事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
スポーツ推進委員の会	スポーツの普及や社会体育事業の振興のため、スポーツ行事の推進や団体の育成・指導・助言等を行う。	津和野町スポーツ推進委員（12名）	4月18日 1月25日 3月3日 3月24日	津和野公民館 津和野公民館 津和野公民館 津和野公民館	668	663	スポーツ推進計画に基づき、未就学児の体力向上支援事業として、町内各体育館で親子での運動あそびを行った。 また、駅伝大会やロードレースの競技役員として協力し、健康スポーツ大会ではペタンクの指導にあたった。その他、健康福祉まつりに参加し、体力テストの測定を行い、健康に対して意識を高めることができた。 課題：未就学児だけではなく、青年層から高齢層にいたるまでスポーツに触れられる機会を増やす必要がある。
スポーツ推進委員研修会	県内外のスポーツ推進委員の活動報告及び実技等の研修を受けて、活動の参考にする。	津和野町スポーツ推進委員（12名）	6月25日～ 6月26日 8月27日	浜田市(中国地区兼島根県) 吉賀町(益田地区)	238	175	浜田市にて中国地区兼島根県研修会、吉賀町にて益田地区研修会をそれぞれ行った。浜田市の研修会ではスタッフとしても参加し、運営を手伝った。推進委員がいずれかの研修会に概ね参加することができた。 課題：研修会で学んだ内容をどのように町内に普及させていくかが課題である。
津和野町体育協会育成事業	協会加盟24団体の各体育連盟が実施するスポーツ事業を通じ、住民の体力向上と健康の増進を図る。	町民	年間	町全域	2,070	2,070	助成金を基に、各体育連盟がそれぞれに大会を開催することができた。住民の体力向上や地域の活性化について一役を担っている。また、各駅伝大会やつわのSL健康マラソン大会は各連盟が競技役員として協力している。 課題：各団体に参加されている方の高齢化や、退団して参加者が減るなど、各団体の存続にかかわる問題が発生している。団体の紹介などを行い、参加者増に向けて取り組みたい。
第40回日原ロードレース大会	健康増進のためのマラソン大会で地域の活性化とスポーツ振興を図る。	4歳以上	2月12日	日原体育館～三渡曾庭	10	10	平成28年度は積雪のため中止となったが、ファミリーでスポーツに参加したいという方は多く今後とも継続していきたい。 課題：SL健康マラソンと時期が近い。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
スポーツ少年団事業	スポーツ少年団の登録 各種情報提供と活動支援 第28回津和野町スポーツ少年団大会開催	指導者 23 名 団員 59 名 7 団体 野球 津ミニバス 剣道 柔道 サッカー 日ミニバス	年間 10 月 9 日 10 月 10 日 10 月 16 日 10 月 23 日 2 月 25 日 3 月 5 日	町内	610	610	団員数は減っているものの、各単位団とも大会を成功に収めたことは、各単位団が結束している成果である。また、大会において、町外のチームや選手との交流を深めることができた。 課題：団員数の減少に伴い、活動することが難しくなりつつある。団体によっては自ら団員募集のポスターやチラシを作り広報活動を行っているが、それらを支援する一方で事務局としても広報に力を入れていきたい。
第3回津和野町駅伝競走大会	体力の向上に対する地域住民の関心を高め、地域の活性化とスポーツ振興を図る。	小学生以上	10月8日	アスリートコース：木部公民館～小川公民館～津和野庁舎  エンジョイコース：津和野庁舎～下千原～津和野庁舎	326	326	アスリートコースとエンジョイコースの2部門を行い、アスリートコース 17 チーム、エンジョイコース 21 チームの参加があった。 昨年よりも参加チーム数は減となったが、怪我もなく無事成功させることができた。 また、警察とのコース見直しによる走路員の増員があったが、人数も不足なく実施することができた。  課題：大会運営で課題は残ったが、役員や選手から出た意見を取り入れながら、より良い大会にしていきたい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
第27回 つわのSL健康 マラソン大会	健康増進のためのマ ラソン大会で地域の 活性化とスポーツ振 興を図る。	小学生以上	3月12日	津和野高校グラウ ンド～掘庭園折返 しコース	990	990	昨年度の参加者が1,000人を超え、参加者の安全が確保 できない状況にあることから、今年は石見空港マラソン でのパンフレット配布をやめ、サザン・セト大島ロード レース大会のみ配布を行った。その結果、851人の申し 込みがあった。 部門別にはハーフ部門331人、10km部門176人、3.2 km部門137人、1.8km部門120人であった。 また、招待選手として加納由理選手をお招きし、参加者 とふれあいながら大会に参加していただいた。 課題：準備品の不備や当日運営の連絡体制など、多くの 課題が残った。今まで事務局が1人で行ってきた部分を 他の人に分散させ、できるだけ本部業務（他役員への指 示等）に徹していきたい。
総合型地域ス ポーツクラブ 育成事業	総合型地域スポーツ クラブの設立から育 成に向けた取り組 み。	津和野町体 育協会 津和野町ス ポーツ少年 団 津和野町ス ポーツ推進 委員	年間	町内	0	0	小川体育連盟が町内で唯一の総合型地域スポーツクラ ブとして活動を行っている。自立支援事業を今年も受け ずに、地域の人が様々な運動ができるよう工夫しながら 活動を行った。  課題：総合型地域スポーツクラブを設立せずとも、各公 民館や体育連盟が中心となり、地域住民への運動の場を 提供している。総合型地域スポーツクラブの設立の必要 性について、再度検討したい。

## ○文化財関係審議会・委員会

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
文化財保護審議会	文化財の保護、活用についての意見を諮る。	審議会委員 (6名)	12月21日 3月24日	津和野庁舎	132	81	文化財の保護、整備、活用についての検討を行い、適切な文化財保護事業の執行をすることができた。
津和野城跡整備検討委員会	津和野城跡保護、整備についての意見を諮る。	委員6名	4月21日 8月30日	津和野庁舎 津和野町民センター	388	202	史跡津和野城跡の保護、整備、活用についての検討を行い、適切な文化財保護事業の執行をすることができた。
旧堀氏庭園整備検討委員会	旧堀氏庭園、特に畑迫病院についての保護、活用についての意見を諮る。	委員7名	6月6日	津和野町民センター	280	168	名勝旧堀氏庭園、特に畑迫病院の保護、整備、活用についての検討を行い、適切な文化財保護事業の執行をすることができた。
堀家文書調査委員会	史料調査の方針・計画等についての意見を諮る。	委員6名	10月3日 3月3日	津和野庁舎	230	161	堀家文書の調査方針・進め方について検討を行い、適切に事業を執行することができた。また、長期的な計画の見直しを行うことができた。

## ○文化財修理等事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
旧堀氏庭園畑迫病院修理事業	名勝地内の畑迫病院の保存修理のため、設計に基づき組立工事、工事監理および報告書作成業務を実施する。	4月～3月	津和野町邑輝	69,224	69,099	設計に基づき、計画的に組立工事および監理業務、報告書を作成した。 課題：後世に文化財である建造物の畑迫病院を守り伝えていくため、継続的な施設管理が必要である。
津和野城跡整備事業	津和野城跡で石垣修理工事のための仮設作業道工事・仮設遊歩道工事および発掘調査を実施する。	4月～3月	津和野町田二穂、後田	31,486	6,367	整備検討委員会を開催し、出丸石垣修理について検討できた。仮設作業道工事・仮設遊歩道工事および発掘調査に着手したが、石垣修理工事等については平成29年度へ繰越することとなった。 課題：城山来訪者の安全対策を図りながら、石垣修理工事を進める必要がある。

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
藩校養老館整備事業	県指定史跡の藩校養老館の保存修理のため、設計に基づき組立工事、工事監理業務を実施する。	4月～3月	津和野町後田	91,712	89,486	設計に基づき、組立工事および監理業務を実施した。 課題：養老館の活用に向けた検討、計画策定が必要である。

○文化財調査事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
旧堀氏庭園文書調査事業(国補65/100)	個人から寄託を受けた堀家文書(約8万点)について、堀家の歴史を明らかにするため、目録を作成する。	4月～3月	津和野町森村	5,185	5,245	調査委員会で承認を得た調査計画に基づき、目録作成が進んでいるが、当初想定していた資料点数よりかなり多いことが判明し、2年間の計画延長を行うことになった。また、調査委員会において報告書の大まかな編集方針について決定した。 課題：今後、平成31年度刊行予定報告書について編集作業を早めに進めていく必要がある。
亀井家墓所・青野山調査事業	亀井家墓所の国指定史跡、および青野山の国指定天然記念物・名勝の指定を目指し、地元同意など指定に必要な準備を進める。	4月～3月	津和野町笹山、耕田、直地	870	734	亀井家墓所・青野山の国文化財指定に向け、地権者同意書の取得を進めた。 課題：亀井家墓所については地権者同意書を取得して指定申請をおこなったが、青野山については未了となっている地権者同意書取得を進め、国文化財指定のための申請を行う必要がある。

## ○文化財維持管理

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
西周旧居管理事業(国補 1/2 以内)	国史跡西周旧居の管理事業を行う。	4月～3月	西周旧居	2,364	2,327	庭園等の維持管理および、自火報の点検業務について国庫補助を受けて適切に実施することができた。本年度は管理の一環として差茅をおこなった。  課題：今後とも定期的に維持管理業務を行うとともに、旧居前の管理棟の老朽化への対応が必要である。
旧堀氏庭園管理事業	国名勝旧堀氏庭園の適切な維持管理および受付業務等について実施する。	4月～3月	旧堀氏庭園	25,304	24,864	名勝指定地の適切な保護を図るため、楽山荘・庭園・山林等の購入、譲渡を進めることができた。  庭園等の維持管理および自火報の点検業務について国庫補助を受けて適切に実施した。
	国名勝旧堀氏庭園の公有化事業について国庫補助を得て実施する。(国補 8/10 以内)	11月～3月	同上	67,470	67,470	課題：名勝地内において、公有化が未了の建物が残っており、名勝地の一体的な保護活用を図るために公有化を進める必要がある。
	庭園の維持管理および自火報の点検業務について国庫補助を得て委託して実施する。(国補 1/2 以内)	4月～3月	同上	1,952	1,938	名勝地内各所において、損傷、損壊が進行しており、適切に維持修繕する必要がある。
その他文化財維持・管理事業	指定文化財(山陰道徳城峠越、下瀬山城跡、鷲原八幡宮流鏝馬馬場等)の維持・管理のための事業を実施した。	4月～3月	津和野町内	2,596	2,576	文化財の適切な維持・管理のための事業が適切に行われた。  課題：今後修理の必要となる文化財も多数あるので、計画的に修理を実施していく必要がある。
文化財防火デーの実施	指定文化財を対象に消防機器点検及び放水訓練を実施した。	1月29日	津和野町内(旧堀氏庭園畑迫病院、三渡八幡宮)	0	0	指定文化財の消防機器の点検と、地元消防団・地元自治会による放水訓練を実施した。  課題：地域住民の協力により、文化財の防災意識の高揚を図ることが必要である。

## ○文化財補助事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
その他文化財補助金・交付金	民俗芸能保存協会、安蔵寺山の大ミズナラなど指定文化財の維持・管理に補助を行うとともに、全史協、中史協への負担金を支出した。	4月～3月	津和野町内	621	611	計画に基づき事業が実施されたこと確認し、補助金・交付金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野町民俗芸能保存協会 500千円</li> <li>・指定文化財交付金 68千円</li> <li>・全国史跡整備市町村協議会 20千円</li> <li>・全史協中国地区市町村協議会 5千円</li> <li>・安蔵山の大ミズナラ保全協議会 18千円</li> </ul> 課題：補助金については、団体より増額の要望があり、今後検討する必要がある。

## ○埋蔵文化財調査事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
町内遺跡発掘調査（国補1/2）	各種開発に伴う事前の試掘確認調査	年間	後田、森村	2,001	2,000	開発事業との調整を行い、事前に試掘確認調査を行うことで文化財保護に努めた。 課題：計画的に保存目的の試掘調査を実施し資料を得る
埋蔵文化財発掘調査事業	各種開発に伴う工事立会 町内発掘調査 埋蔵文化財資料室の維持管理	年間	後田、森村、鷲原	2,434	2,321	開発事業に伴う工事立会、また復旧工事に伴う発掘調査を実施し文化財保護に努めた。埋蔵文化財資料室の文化財資料の管理・保存体制を整えた。 課題：埋蔵文化財資料室の空調改善等、保管資料の保存状況の改善が必要。

## ○文化施設事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
郷土館	郷土館の維持管理・運営 郷土資料の収集・管理 郷土館新収蔵品展の開催	4月～3月	郷土館	4,609	4,434	施設の維持管理および運営が適切に行われた。町内外から、資料の寄託に関する問い合わせが増え、収蔵資料の充実につながった。また、寄贈品が多かったため新収蔵品展を行った。  課題：今后来館者の増加を図るために、定期的な企画展等の開催も検討する必要がある。また、施設の老朽化が目立つようになっており、今後は策定した保存活用計画の実施に向けて検討を行う必要がある。
民俗資料館	民俗資料館の維持管理・運営	4月～11月 3月	津和野町民俗資料館・日原歴史民俗資料館	1,179	1,065	施設の維持管理および運営が適切に行われた。平成28年度より藩校養老館の保存修理が始まるため、津和野町民俗資料館は休館とし、旧木部中学校校舎に民俗資料を保管することとした。日原歴史民俗資料館の入館者数については、日本遺産展示の効果があり平成27年度より増加した。  課題：貴重な収蔵資料を後世に伝え、教育現場で活用できるよう展示収蔵場所の整備が必要である。

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
森鷗外 記念館	鷗外の生誕地であることを記念し、顕彰するとともに鷗外文学を主題とし、町民文化の向上並びに学校教育及び専門的研究活動の振興を図る。	年間	森鷗外記念館・森鷗外旧宅	24,582	24,419	<p>記念館入館者数 10,939 人、森鷗外旧宅観覧者 16,633 人</p> <p>1. 企画展・パネル展 3回  ○企画展「鷗外文学に見る四季の草花」  ○パネル展「鷗外宛年賀状展」  ○全国文学館協議会共同展示「文学と天変地異／森鷗外文学に見る天変地異」</p> <p>2. 講演会 7回  ○鷗外忌講演会『うたを忘れたカナリアは-文学散歩「本郷から上野の岡へ」-』  ○植栽解説(7/21、9/12、12/6)  ○森鷗外生誕記念講演会『「即興詩人」の世界-熟成されるくゆめみるひと-』  ○西周生誕記念講演会『西周の思想 人生三宝説』  ○文化講座『日本人の真面目さ、頑張る心はどこから来たのか』</p> <p>3. 島根県立津和野高等学校講座  4. 研究・普及事業  ○館報「ミュージアム・データ」第21号の発行  ○輪読鷗外 毎月1回(延参加人数98人)</p> <p>5. 資料購入  ○森鷗外書幅「丙辰乞骸骨同班」  6. 「鷗外の庭」植栽工事  7. その他  ○商品開発 オリジナルクリアファイル  ○各種書籍・雑誌等取材協力</p> <p>評価：豪雨災害等の影響による入館者の減少は未だ回復には至っておらず、さらに前年より入館者が減少した。町全体の観光入込客数が減少しており、九州ふっこう割等が影響しているのではと考えられる。平成28年度は企画展や講演会を実施し、特に昨年度から継続して取り組んでいる「鷗外の庭」植栽工事を活かしたPRの講演会も行った。新たな切り口としてこれを契機に森鷗外の顕彰と普及にさらに努めたい。森鷗外の関係資料として鷗外の自筆書幅1点を購入した。今後も、森鷗外の研究施設として資料の充実を図ると共に資料の散逸を防ぐためにも可能な限り資料収集に努めたい。</p> <p>課題：未だ回復しない入館者を取り戻すためにも、積極的に企画展や講演会のPRを行い入館者増に繋げたい。また、研究施設でありながら学芸員が不在であり、また人員も限られる中での館運営となっており、持続可能な体制づくりも今後の課題である。</p>

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
安野光雅美術館	安野光雅先生の生誕地であることを記念し、功績を顕彰するとともに、作品の展示を通じて、町民の文化意識の向上と町の観光振興を図る。	年間	安野光雅美術館	86,069	85,965	<p>*美術館入館者数：16,448人 *館外展入館者数：117,497人（10会場）</p> <p>1. 展 示 開館15周年の記念展示として、第一期展で『御所の花』を展示した。この作品は、館外展では各地で展示をしてきているが、町内では初めての展示となったため町民の方々には好評であった。しかしながら、町外から来られる方の中には他の会場で観たというご意見もあった。第二期展～第四期展については、安野光雅氏のこれまでの仕事を振り返るということテーマに、第二期展では「昭和40年代～50年代」の作品と「ふるさと津和野」を、第三期展では「昭和60年代～平成12年」の作品と「中国路」を、第四期展では「平成13年代～現在まで」と「おたより」を展示した。本年も、年4回（3月、6月、9月、12月）、季節ごとに展示替えを行っている。</p> <p>2. 文化事業 ・2017（平成29）年3月19日（日）、昨年に引き続き音楽家の森ミドリ氏とヴァイオリンの佐藤久成氏を招き「森ミドリ お話しとコンサートー春風致福ーその式」を開催した。また、10月29日（土）には、「絆（きずな）」をテーマに恒例の鷺の舞ムジカ合唱団ファミリーコンサートを実施した。</p> <p>3. 備品購入（原画） ・『繪本 平家物語』（2点）、・『片想い百人一首（第一歌～第五二歌）』（52点）</p> <p>4. その他協力事業（館外展等） ・館外展 10会場</p> <p>評価：豪雨災害以降減っていた入館者数が、2015（平成27）年度には回復の兆しを見せていたものの、2016（平成28）年度には再び減少した。町全体の入込数にもこの傾向が見られるため、2016年4月に発生した熊本地震の復興支援の旅行等で人の動きが九州向かったのも大きな原因の一つと考えられる。また、館の運営方針のひとつの柱である館外展の開催については、10会場と昨年よりは1会場増えているが入館者数は12万人余りと昨年よりは減少しているが、これは、地方都市での開催並びに小さな会場での開催が多かったことが原因であると考えている。いずれにしても、地道に館外展を開催し、安野光雅美術館並びに津和野町のPRに努めていきたいと考えている。</p> <p>最終の決算では、総事業費に対する一般財源の比率を22.86%となっていますが、これは開館15周年に合わせて美術館PR用映像を制作したことと、平成28年度より美術館整備基金を積み立てることにより今年度2,000千円を積み立てたことにより事業費が膨らんだことが原因だと考えられる。この二つの費用を除いた場合の一般財源の比率は10%を切っており、引き続き健全な経営が行われているものと考えている。こうした状況から、館の安定した運営と町の活性化を図るためにも、今後も継続して館外展等を実施する必要がある。恒例となっている3月に開催する文化事業は、町民の文化意識の高揚につながるものであ</p>

						<p>り、今後も引き続き実施したい。 課題：開館から15年が過ぎたため、特に空調機を中心に器機の経年劣化による不具合の発生頻度が増している。早め早めの部品交換等、日々のメンテナンスで大規模修理に繋がらないように計画的な修繕を実施する必要がある。また、建物の外壁等のメンテナンス（塗装等）も必要である。また、ホームページが更新できない状況が続いているため、情報発信の観点からも早急に対応する必要がある。</p>
--	--	--	--	--	--	--

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
桑原史成写真美術館運営事業	報道写真家・桑原史成氏の功績を顕彰するとともに、作品の展示を通じて、町民の文化意識の向上を図る。	年間	桑原史成写真美術館	2,956	2,902	<p>*入館者数 766人</p> <p>1. 展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期展：大震災から5年―岩手・宮城・福島 会 期：2016（平成28）年3月18日～2016年6月15日</li> <li>・第2期展：2つの惨事―水俣事件と熊本地震 会 期：2016（平成28）年6月17日～2016年9月14日</li> <li>・第3期展：沖縄―菊の花は咲いたか 会 期：2016（平成28）年9月16日～2016年12月14日</li> <li>・第4期展：激震・韓国―分断国家の苦悩 会 期：2016（平成28）年12月16日～2017（平成29）年4月19日</li> </ul> <p>※規則改正により、第四期展から館の休館日を4月の第3木曜日に変更</p> <p>2. 備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン（10点／全紙サイズ・銀塩プリント）</li> </ul> <p>評価：近年国内外では突発的な自然災害が多発しているため、災害をテーマに展示を行った。第1期展では、大震災から5年経った被災地の様子を第2期展では、桑原氏のライフワークでもある水俣事件と4月に発生した熊本地震の被災情報を展示した。しかしながら、安野光雅美術館と同様に前年度よりも入館者数が減少している。原因としては、安野光雅美術館の評価でも記述したように町全体の入込数が減少していることがあげられる。しかし、来館者には好評で、桑原氏の功績を顕彰することが出来たと考える。</p> <p>課題：2017（平成29）年度は、開館20周年の節目の年にあたるので、特別展を企画し報道写真家・桑原史成氏の顕彰に努めるとともに、入館者数の増加を図りたい。合わせて引き続き計画的な資料の収集が必要である。また、ホームページが更新できない状況が続いているため、情報発信の観点からも早急に対応する必要がある。</p>

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
日原天文台・星と森の科学館	森林の持つ保健休養機能を活用した天文教育活動並びにレクリエーション活動を通じ、津和野町の活性化を目的とする。	年間	日原天文台	7,265	7,033	<p>*日原天文台館入館者数：1,985人 *星と森の科学館者数：991人</p> <p>1. 観測 ペルセウス座流星群観測会 季節ごとの天体を観測 天体写真教室2回</p> <p>2. 文化事業 缶バッチ作り教室 レジン教室 七夕コンサート みこさんず クリスマスコンサート みこさんず キャンドルナイト in 日原天文台（七夕） キャンドルナイト in 日原天文台（クリスマス）</p> <p>3. 天文台トイレ洋便座化</p> <p>評価：開台30年を過ぎ減っていた入館者数も増加してきており良い傾向である。リピーターも増加している。</p> <p>課題：天文台利用人数は徐々に増加していて、現在利用できなくなっている小型ドームをどうするか検討が必要。 大型望遠鏡の設備も古くなって来ていて業者の変更を含めて検討が必要。</p>

## ○ひとづくり事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
鳥取市鹿野町友好交流事業	友好交流都市との交流事業	町、教育委員会、津和野高校、堀庭園、町民	3月8日～9日	津和野町	140	140	隔年で訪問と受け入れを行っており、受け入れの年であった。お互いに行っている事業や施策を協議する中で、双方とも参考になった。 課題：今後は歴史を生かした交流のほか、スポーツ少年団等子どもたちの交流や、生涯スポーツ等検討する必要がある。また、教育分野だけでの交流が目的ではないため、町としてどこが交流の窓口となるのか協議が必要。
芸術士派遣事業	町内の小学校・保育施設に若手のアーティストを派遣することで、子どもたちの芸術に触れる機会を提供し、子どもたちの個々の感性や創造力の育成を図る。	町民	年間	津和野幼花園 木部さとやま保育園 畑迫保育園 直地保育園 津和野小学校 木部小学校	7,439	7,439	子どもたちの感性や創造力の育成を目的として平成28年度より新規事業として開始。新たに芸術士2名を採用し、町内各施設への派遣事業を実施した。  芸術士を小学校及び保育施設へ派遣することで、子どもたちが、新しいことを体験し、感じていく中で、自由な創作、発想、表現力を育むきっかけとなっている。  当初は2箇所のみ活動であったが、各施設からの要望により、6箇所に取り組み施設が拡大し、各施設や保護者からの本事業に対する一定の評価があると判断できる。  課題：事業を継続していくため、活動ノウハウの引継、継続した芸術士の確保が必要となる。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
0歳児からの人づくり事業	18歳時の目指す子ども像を明確にし、幼児期から18歳までに関わる関係機関の壁を超え、系統的な教育活動の実践を行うため、学校・家庭・地域の連携を図りながら、様々な角度から教育支援の充実を図る。	子育てにかかわる課の担当者  町民	年間	町内外各施設	285	285	<p>1. 0歳児からの人づくり連携会議 1回目：12/20、2回目：2/22、3回目：3/28</p> <p>2. 親子読書アドバイザー派遣 4月～ 延べ8回</p> <p>3. のびのびファイル配布 51名</p> <p>4. ブックスタート・パック配布 29名</p> <p>5. 親子読書会 10/22 講師：村上一恵氏 2家族、大人2名、子ども3名参加</p> <p>6. 読み聞かせ講演会 3/8 講師：末宗達彦氏 大人24名、子ども11名参加</p> <p>7. アウトリーチ 芸術鑑賞 3/6</p> <p>評価：子育てに関して協議することで課を超えた協力・連携ができ、情報共有の場となることができた。また就学前の子どもの保護者に対して子育て応援ファイル「のびのびファイル」や、乳児の保護者に対して「ブックスタート・パック」は大多数の対象者へ配布することができた。親子読書会や読み聞かせ講演会などを通じ、絵本のある環境づくりのきっかけを提供することができた。</p> <p>課題：0歳からの人づくりプログラムを作成し、子育てに対して共通の意識を持ってもらうことが必要である。のびのびファイルに関しては活用していくための支援体制や、保護者への周知、書き方のフォローが必要である。また絵本に親しむきっかけはあるものの、保護者が参加しやすいものになっていないのが課題である。講演だけでなく、ワークショップも併せて行うなど、実生活にも生かせるような形式の研修ができるとよい。</p>

## ○公民館事業

(単位：千円)

## (津和野中央公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
津和野中央公民館運営審議会	運営・事業の計画実施について審議。	運営審議会委員 (5名)	7月15日 3月29日	町民センター	79	77	事業計画及び予算についての審議、事業後の評価、反省を行い、地区民が利用しやすい公民館の運営を行った。 課題：公民館活動について委員研修の機会が必要。
県立石見美術館バスツアー	県立石見美術館で開かれる企画展を鑑賞し、地域文化の振興を図る	地域住民	年間（各企画展毎）  7月1日 (17名)  9月5日 (23名)  10月31日 (中止)  2月8日 (21名)	県立石見美術館	0	0	グラントワ利用促進協議会の助成金を活用し今年度は4回の開催を予定。7月はフィンランドを代表する「マリメッコ展」があり、参加者は大胆でカラフルな生地にくぎ付けであった。9月の「原田直次郎展」は、森鷗外と関わりの深い企画展で、参加者も多く有意義なバスツアーとなった。10月の「ミッフィー展」は、参加申込が少なかった為中止となり、4回目は、2月に「最後の浮世絵師 月岡芳年」の企画展へ。多数の展示があり充実したバスツアーとなった。  課題：広く周知、募集をかけるようにしているが、木部、畑迫方面からの参加が少ないのが現状。なかでも出発が午後からなので帰宅時間が遅くなるという点も指摘を受けている。9月の企画展より少し時間を早め対応した。
納涼・新春囲碁大会	地域文化の振興を図り、参加者の交流と親睦を深めることを目的とする。	町内外囲碁愛好者	8月20日 (11名)  1月15日 (10名)	町民センター	14	14	町内外より参加者を募り、津和野囲碁クラブと共に大会運営を行っている。参加者の減少の為、新春囲碁大会より囑託文書にて募集をかける。新春囲碁大会では、津和野高校生の参加を頂く。  課題：高齢化が進み参加者が減少。町内で数少ない大会の為、継続してできるよう運営等の協議を重ねたい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
講座	趣味の講座	地域住民	1. 1月21日 (14名) 2. 3月5日 (15名)	町民センター	30	5	1回目の講座は、藍染め体験を開催。2回目は、町内の方を講師に招き、土人形のおひな様に色付けを開催。今後も趣味の講座は、参加者の年齢層を幅広く持たせていき、子どもと参加しやすい事業展開を図りたい。 課題：年度内ギリギリでの講座開設になる為、気をつけていきたい。
	チョウジソウ（丁字草）観察会	地域住民	5月22日 (40名)	地倉沼	20	20	津和野地域のシンボル青野山の麓にある地倉沼で実施。近年になく好条件で沼は水が張り、木の枝にはモリアオガエルの卵が数個ぶら下がり、丁字草の花も見頃で絶好の観察会となった。また、参加者の内2名、子どもの参加があった。地元の宝を知り、守り、伝える為にも、子どもの参加が増えていく事が理想である。 課題：9号線から現地まで車両で往来が可能となったが、悪路であるため、運行できる車両（軽4WD）の確保が必要である。できれば全員徒歩での参加が望ましい。
水彩画教室	水彩画を通じて、受講者間の親睦と交流を図るとともに、文化意識の向上を図る。	地域住民	毎月第1・第3水曜日 (1回6~7名)	町民センター 研修室	0	0	津和野出身の水津保美先生を講師とし開催した。毎回季節の花等をモチーフに作品を作成している。町民センターロビー等で作品の展示を行い、受講者の意欲の向上を図った。 課題：受講者の新規開拓が課題である。
0歳児からの教育	乳幼児期に人としての基礎をしっかりと築くことにより、自立した一人の人間として力強く生きていく力を身につける。	地域住民	9月4日 (127名)	山村開発センター	20	10	子育て支援センター、職員組合、津和野中央公民館の共同開催で子育て講演会を実施した。講師先生は、東京より二本松はじめ氏を招き、終始ギターを弾きながら歌ったり、体を動かしたり、絵本を使ったりして賑やかなワークショップの参加型タイプの講演会であった。親子での参加型で今までにない参加者数であった。堅苦しくなく飽きさせない講演会で、子育てのツボはしっかりと押さえた有意義な講演会の時間となった。 課題：共催事業の事前協議、打合せは情報共有の為に必要である。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
高齢者支援	地域内（木部・小川・畑迫・津和野）の老人クラブ連合会活動の支援（健康増進、生きがい対策）	津和野地域老人クラブ会員	年間	町内	0	0	津和野地域の老人クラブ連合会と共催でスポーツ活動、文化活動を行った。グラウンド・ゴルフ大会、ふれあいスポーツ大会、作品展、会員研修等を行い、高齢者の健康、生きがい対策となった。今年度2回目の津和野町老人クラブ連合会GG交流大会も親交を深めるいい場となった。今年度に入り、少しずつ会員の増加もあった。  課題：超高齢化社会が迫っている中で、組織強化が望まれる。（若手会員の獲得）
	津和野町高齢者福祉大会	津和野町老人クラブ連合会	7月15日 (100名)	山村開発センター			
	津和野町老連GG交流大会	津和野町老人クラブ連合会	11月1日 (97名)	津和野町GG場			

(津和野公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
青野山ハイキング	”こどもの日”に併せ、町内の子どもと保護者を対象に、青野山頂上まで登る。自然体験を通じて自然を愛する感性を育成し、親子のふれあいを図る。	地区内の子どもと保護者 町民 町外者	5月5日 (83名)	青野山	10	10	今年度で第56回目の開催となった青野山ハイキングは、天候にも恵まれ、町内外より大勢の参加をいただいた。会の企画から運営まで、町内の各団体との協力事業で行い、改めて協働の大切さを実感する事業である。今年は、例年になく多数の参加をいただき、内40名は子どもの参加を頂いた。 課題：自然体験学習としての事業であるが、学校などにも協力を促す必要がある。
殿町盆踊り大会	殿町通りにおいて盆踊り保存会・商工会女性部・本町商店会と協力して開催する。	町民 町外者	8月15日 (175名)	殿町通り	43	43	県指定無形民俗文化財”つわの踊り”を継承する盆踊り保存会の方々に毎年「お囃子」「踊り」をお願いしており、生演奏での踊りを行っている。来年度は、400年の節目を迎える年でもあり、今年度の盆踊り大会より力を注ぎ、PR活動にも努めた。また、今年は初の試みで「灯籠流し」とコラボし今までとは違う賑わいがあった。 課題：予算の確保や保存会の高齢化、イベントの重複等の課題、継続に向け今後について検討する必要がある。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
家庭教育学級	親子で共に学習活動をすることによって、親子の絆を深める。	地区内の親子	8月8日 (43名)	町民センター調理室	12	12	8月8日に地元食生活改善推進協議会主催・津和野公民館共催で、地元である津和野幼花園児童・保護者を対象に「親子食育教室」を開催。子どもの頃から生活習慣病にならない食生活について学んだ。  課題：食事のスタートが12時を過ぎてしまったので、来年度は開始時間を早めるのが理想である。
女性学級	各種活動を通じて、女性活動を活性化する	地区内の女性	6月28日 (29名) 11月17日 (10名) 2月9日 (30名)	浜田市三隅町町民センター 益田市美都町他	52	52	町内の女性団体である津和野婦人会を中心に受講があった。各テーマとも大変好評であった。(6/28 浜田市三隅町へ石州和紙会館・三隅発電所見学、11/17 押絵教室、2/9 益田リサイクルプラザ・秦記念館・旧畑迫病院見学)  課題：若い女性もターゲットに今後企画していく必要がある。
健康維持・増進活動	1. 自治会連絡協議会 GG 大会 (まちづくり GG 大会)  2. 健康を守る会 健康ウォーキング大会  3. 3B 体操	地区民	1. 9月11日 (53名)  11月27日 (38名)  2. 11月13日 (89名)  3月19日 (117名)  3. 毎月2回 (1回8～	1. なごみの里 GG 場  津和野体育館  2. 長門市油谷  岩国  3. 町民センター	10	10	GG 大会については、2 回開催した。幅広い年齢層より参加があり、大いに盛り上がった。まちづくり委員会の予算も頂き、盛大に開催できた。11月の大会は雨天の為、津和野体育館にて室内で GG 大会を開催した。 健康ウォークも毎年高い需要があり、今年度 11/13 は大型バス 2 台満車の参加で、長門市油谷町へ出かけ、津和野太鼓谷稲成神社の分霊でもある元乃隅稲成神社と千畳敷にてウォーキングを行った。天気にも恵まれ、景色のいい場所で開催する事ができた。 3/19 には、大型バス 2 台、中型バス 1 台の計 117 名で岩国城、錦帯橋にてウォーキング開催。地元ガイドを依頼し、錦帯橋周辺・岩国城の説明を頂きながら、ウォーキングを堪能することができ、健康増進を図ることができたように思う。 3B 体操は、定期的に通って、身体を動かしておられるが、参加者が決まっているので、もう少し幅広く参加者を募って、人数

	4. スポーツフェスティバル (町民運動会)		10名) 4. 11月6日 (70名)	4. 津和野 小学校グ ラウンド			が増えると良いと考える。 「よみがえろ！地区民運動会！」を合言葉に、第2回目のスポーツフェスティバル (地区民運動会) を開催。今年は、津和野地区まちづくり委員会等各団体の賛同も頂き開催した。(津和野公民館共催。) 昨年につき、若者が賛同し、声を掛け合い参加してくれ、老若男女総勢約70名での開催となった。参加者からは、「楽しかったから来年も参加したい、友達をもっと誘うから」と嬉しい声も頂いた。毎年11月第1日曜日に開催。定着し、賑やかな運動会へと願う。
青少年育成活動の推進	津和野地区青少協と連携し次代を担う青少年の育成を図る。 1. あいさつ運動  2. 通学合宿協力  3. 青少協GG大会	地区内外 小・中学生・ 保護者・津和 野地区青少 協会員	1. 7月1日 (40名) 7月15日 (26名) 11月1日 (23名) 11月15日 (24名)  2. 7月6~9 日 (20名)  3. 10月28 日 (65名)	1. 町内各 所  2. 小川公 民館  3. なごみ の里GG場	10	10	各事業をとおり、学校・家庭・地域が連携し、協力体制をつくりながら青少年の育成の取組みを進めた。7/1のあいさつ運動では子さぎ8名にも参加していただき花を添えた。通学合宿の参加者は例年より多く、昨年につき参加する児童も多くみられた。また、今年は合宿中のプログラムの一部を自分達で考え活動する時間を設けた。事前の会議でも目を輝かせながら意見を言っていたように思う。Jrリーダー育成につながるのではないかと考える。10月のスポーツ大会では、昨年につきGG大会を開催。実行委員会をはじめ、地域の方にも協力をいただき、例年になく参加者が多く賑やかな大会となった。また、中学生は配膳手伝いでの参加を頂いていたが、今年は競技にも参加してくれ小学生との交流の場ができた。 課題：各種の事業を実施するにあたって、地区公民館長の体制が整っていないため、地区住民への周知や協力体制が十分とれない。人と人で繋がり、周知していくことも重要と考える。
人権・同和問題教育	人権・同和問題教育研修会等参加 人権ネットあおのやま	公民館職員 等	年間	益田市人 権センタ ー 町民セン ター	0	0	講演会・パネル展示・DVD鑑賞等、人権・同和問題教育について知識を高め、考え・学ぶ。今回は、金子みすゞさん他3種類のパネル展示も行った。  課題：身近なところから人権・同和問題へ関心を持ち学んでいけるような工夫を図る。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
津和野地区寿会 連合会	1. GG 大会	寿会クラブ 会員	1. 6月15日 (58名)	1. なごみの 里 GG 場	0	0	GG 大会は、津和野地域老人クラブの GG 大会へ参加。他のク ラブ会員との交流の場、身体を動かし健康促進となった。 また、津和野町老人クラブ連合会の GG 交流会の予選も兼ね ていたため、楽しみにもつながった。  ボランティア清掃は、寿会クラブ会員の有志が集まり、殿 町周辺の清掃活動を行なった。登校中の児童・生徒達との あいさつも交わし、気持のよい活動である。  高齢者福祉大会は、地域の活動発表・功労者表彰等への参 加。  一日老人の家は、クラブ内で亡くなられた方の、御供養祭。 お寺様が来られ、お経をあげてくださる。  リーダー研修では、押絵教室を開催。今年は、4つ目の干支 「酉」を作成。指先や頭を使いながらの作成で、脳トレに なった。  普段あまり町外へ出ない傾向がある為、参加者を募り町外 へ行く。普段見られない風景に刺激を受け、お喋りを楽し み、「明日からまた頑張ろう！」そう思えるような時間を 過ごして頂いている。また、今回は参加者の方より余興の 披露があり、終始賑やかに時が流れた。  リーダー研修会で作った、干支の押絵を初め、自慢の品を 出展。今年は、19名の方から53作品の展示を頂いた。町内 外からの観覧者を迎え、自由に見てもらう。
			10月19日 (53名)				
	2. ボランティア清掃		2. 7月4日 (11名)	2. 殿町周辺			
	3. 津和野町高齢者福祉 大会		3. 7月15日 (37名)	3. 町民セン ター			
	4. 一日老人の家		4. 7月8日 (36名)	4. 町民セン ター			
	5. リーダー研修会		5. 10月27 日 (7名)	5. 町民セン ター			
	6. 一日研修旅行		6. 11月22 日 (18名)	6. 益田市 匹見町			
7. 津和野地域老人クラ ブ作品展	7. 11月15 日 (119名)	7. 町民セ ンター					

	8. ふれあいスポーツ大会  9. 寿会コーラス		8. 3月15日 (165名)  9. 毎月2回	8. 町民センター  9. 町民センター			津和野地域老人クラブ会員が一堂に集まり、身体を動かしたりし、健康増進を図る。また、お喋りをしたりして、楽しい一時を過ごす。  寿会の会員で結成されるコーラス。H27年度10月に指導者が変わったが、会員の意気込みは好調。多少会員が増えた。練習に参加する事・人と会うこと・歌うことで健康促進を図る。 熱心に練習をするが、発表の場が少ないのが現状である。発表の場・数を増やしていくことが課題である。
館報「むすぶ」発行	公民館と地域の繋がりを図る	津和野地区民	2か月に1回発行 (年6回)	津和野地区 (橋南・橋北)	10	9	館報発行より1年が経過。公民館活動をはじめ、各事業(主として地区民が関わる事業)全般を紹介したり、事業の周知、募集をかけた。また、公民館の存在や地区の情報発信を目的とし今後も定期的に発行していく。津和野地区(橋南・橋北)各戸に配布。
学びの協働推進事業	里芋学習 子鷺体験 校外学習 ミシン学習 昔のあそび体験 木切れを使った工作	津和野小学校・中学校	年間	津和野地域	0	0	H28年度より学びの協働推進事業のコーディネーターがスタート。小学校サイドからの要望が強く、過去の資料をもとにし、パートナーの新規開拓にも務めた。より多くの地域の方に学校と関わって頂き、学校・地域との連携が図れる機会を作れたらと思う。初めての事で手探りの部分も多くあったが、学校サイドとも密に連絡をとりながら乗り切った。  課題：学校からの要望が直前でパートナー探しが大変な時があったので、年度初めに学校側の年間スケジュールがある程度決まっているようであれば、事前に知らせて頂けると嬉しい。

## (小川公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
公民館運営委員会	公民館主催、共催事業の計画、運営について協議した。	地区公民館 16名 団体長他 9名	5月12日 9月5日 10月4日	小川公民館	164	157	年度当初は事業を理解、周知してもらうために開催し、各団体長からも意見をいただきながら進めた。二つの大きな事業の地区民運動会、地区民作品展は、毎年開催しているため、運営についてはスムーズに行っている。  課題：事業の参加について偏りがあるので、運営委員会の開催を増やし、呼びかけ連携をしていく必要がある。
公民館講座 成人学級 (めだか学級)	知識や技能の習得、受講生間の親睦と交流を図るために実施。  ①物作り教室、ちぎり絵陶芸教室  ②物作り教室、藍染め教室  ③郷土を学ぶ教室 百景図を歩く  ④移動学習  ⑤人権・同和教育学習 講演会	小川地区住民 他  参加者 ①13人 ②14人 6人 ③16人 ④16人 ⑤28人	  ①6月14日 ②8月30日 9月9日 ③11月22日 ④1月24日 ⑤3月3日	  ①小川公民館 ②小川公民館 〃 ③雄滝雌滝、本町 畑迫 ④山口市、美祿市 ⑤小川公民館	99	70	毎年シリーズ化して行っているため定着してきている。郷土を学ぶ教室では、昨年同様、百景図に描かれている場所の学習、視察のほか、町家、畑迫病院、酒蔵等、内容が濃く、参加者にはとても好評で有意義な学習であった。物作り教室のちぎり絵陶芸は陶芸にひと手間加えた物で個性が発揮された作品に仕上がりに、藍染めは誰でも気軽に参加できる物であるため、それぞれ好評であった。作品展での展示は良い刺激となり参加者の意欲向上に繋がっている。何れの講座においても、多様で幅広い学びを行うことができ、参加率が高く好評であった。受講者：延べ 93人  課題：参加者の感想や要望等を反映させた内容を行ってきているが地域全体からも意見や要望を吸収し、ニーズに応えられるよう計画していきたいと考えている。  男性の参加者が少ないので検討したい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
図書貸出事業	図書に親しむための場の提供	津和野町民	年間	小川公民館	0	0	貸出し冊数はあまり変化がみられなかったが、子どもたちや近場の利用者が立ち寄り、図書を活用。  課題：既存の図書の整理を行い、公民館利用者のニーズに合わせて県立図書の活用や、引き続き広報などで周知する必要がある。貸出：〇冊
作品展	農林業及び教育文化の指導展示、共催行事などを行い地域の振興と住民の親睦を図る。	小川地区住民 参加者 180人	11月13日	小川体育館及び 小川公民館	13	13	農作物の展示及び販売、各サークルや直地保育園と合同の展示。各団体や個人の成果発表の場や交流の場となった。また神楽公演を行うことで、人が滞在する時間が長くなり結果、幅広い年齢層が来場し、活気付いた。子どもの出品や来場も多かった為、併せて行ったロードレースも子ども達が多く参加した。  課題：継続するための予算に限界があるので今後町づくり委員会や小川福祉会等にも協力してもらい引き続き活性化に繋がるような内容を検討していきたい。
地区民運動会	スポーツを通して異世代間の交流を図る。	小川地区住民 参加者 200人	10月4日	小川体育館	36	36	毎年、直地保育園と合同で開催しており支援センター利用者など、若い世代の参加、交流に成果を上げている。また、地域の子も達や、中学生の参加が目立った。それに伴い2,3世代家族が揃う場面が多くみられた。運営委員の意欲的な声かけや運営による成果だと思われる。参加者も多く昨年同様盛り上がりを見せた。
食育事業	子ども料理教室とネットの講座	地区民 子ども	7月30日	小川公民館	0	0	今年度新しく行った事業である。子ども達には料理の話、調理の基本を習って調理してもらった。その間大人は人権啓発向けのDVDを観賞してもらい、皆で感想を述べ合うなど有意義な会となった。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
青少年の育成のための各種団体・サークルへの支援	<p>青少年の健全な育成のための事業支援を行う。</p> <p>①夕涼み会</p> <p>②夏休みボランティアカーブミラー清掃事業&amp;安野光雅美術館</p> <p>③郊外学習</p> <p>④ボランティア缶拾い</p> <p>⑤通学合宿</p> <p>⑥体育館開放事業</p> <p>⑦春休みボランティア缶拾い&amp;チャレンジランキング大会</p>	<p>津和野町民</p> <p>参加者</p> <p>①66人</p> <p>②26人</p> <p>③41人</p> <p>④8人</p> <p>⑤12人</p> <p>⑥延べ 96人</p> <p>⑦25人</p>	<p>①7月21日</p> <p>②8月20日</p> <p>③11月1日</p> <p>④10月10日</p> <p>⑤7月8日～11日</p> <p>⑥1月16日～3月27日</p> <p>⑦3月27日</p>	<p>①小川公民館</p> <p>②小川地区内県道及び安野美術館</p> <p>③阿東町</p> <p>④⑤小川公民館</p> <p>⑥小川体育館</p> <p>⑦寺田・山入り線</p> <p>沿道及び小川体育館</p>	20	20	<p>子どもたちの事業参加に対するのスタンプカードを作成し、3年目になり、小学生間、保護者の意識は高く、子ども対象の事業以外への積極的な参加へと繋がっている。</p> <p>夕涼み会では公民館のグラウンドで初めてグラウンドゴルフを行った。夕食作りや人権啓発DVD鑑賞等内容の濃い事業である。郊外学習も家族参加が多く、活気ある事業となった。何れにおいても保護者や地域の大人が意欲的に活動に参加しスムーズな運営が行えた。保護者の意識の変革がみられ、安定してきているように思う。</p> <p>事業を組み合わせながら引き続き、若い世代の、地域の担い手育成に繋がっていきけるような内容を検討していきたい。</p> <p>体育館開放事業も浸透してきている。スポーツ推進委員の指導をいただき、更なる内容の充実を図りたいと考えている。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地域活性化のための高齢者への支援	主に青野寿会の活動支援を行っている。 ①親睦研修	小川地区民 ①16人	①6月17日	①萩市	4	4	新規会員の募集、地域老連事業参加の呼びかけ等、新事業の手配等の支援を行いながら、地域の皆さんとの交流を行っている。 課題：若手の会員を増やし、会の中心となって活動できるような人材を育てる必要がある。
健康づくり事業	男性料理教室と健康講話	津和野町民 20人	11月25日	小川公民館	0	0	地域の食生活改善グループに調理の指導をしてもらい行った。料理の基本等学んだ後、調理を行った。食事を終え、保健師より健康を守る会で掲げた今年度目標の1つである飲酒にまつわる講話をってもらうなど、目標を意識した事業を行った。
伝統文化の継承事業への支援	小川奴行列	津和野町民 (奴保存会)	11月20日	津和野町町田～ 駅通り	0	0	地域の伝統文化の伝承という観点から、重要な位置づけをしており継続して行きたい。役員を増やし、積極的に声かけを行い、少しずつではあるが会員数が増えた。
地域活性化のための各種団体・サークルへの支援	スポーツ、健康維持推進活動を通して、地区住民に場所と人が集う機会を提供し、地区活性化のために健康作り、人づくり、地域づくりをするための支援を行う。 ①ソフトバレーボール	津和野町民 ①60人程度	①通年 (毎週水曜日)	①小川体育館	55	55	他団体との共催事業が主で、諸行事を通して地区住民の交流と人材育成を図ってきた。 スポーツ事業は、活発に継続的な事業展開がなされ、体力づくり、健康な体づくりに対する啓発に成果を上げている。参加者も地区外の方も増えており、良い交流の場となっている。 それぞれの自治会で行っている健康料理教室も定着してきており、上手く自治会の行事と併せながら行っている。

	リーグ戦 ②ファミリードミノ リーグ戦 ③健康づくり大会 ④フィットネス  ⑤健康ウォーク(年2回)  ⑥健康ウォーク ⑦地区民ハイキング ⑧地区民ロードレース大会 ⑨グラウンドゴルフ大会 ⑩フラダンス  ⑪ふれあい卓球大会 ⑫健康料理教室	②30人程度 ③200人 ④延べ69人  ⑤17人  ⑥26人 ⑦16人 ⑧13人 ⑨雨天中止 ⑩延べ60人  ⑪6人 ⑫4自治会	②通年(隔週月曜日) ③7月3日 ④5月から10月まで(11回) ⑤5月28日  ⑥3月25日 ⑦10月25日 ⑧11月13日 ⑨11月29日 ⑩6月から11月まで(12回) ⑪3月4日 ⑫通年	②〃 ③小川体育館 ④〃 ⑤広島県安芸高田市  ⑥北九州 ⑦山口県下関市 ⑧公民館前 ⑨津和野池村 ⑩小川公民館 ⑪小川体育館 ⑫各自治会			各行事の運営については、運営委員をはじめ、各団体から役員も出てスムーズに行っている。  課題：若い世代の参加者が増えてきているので、他の事業と組み合わせて地域の担い手育成に繋がられるような事業を考えたい。  新しく行ったフラダンスはまだ参加者が少ないので、幅広い世代が気軽に参加できる健康ダンスとして、引き続き周知行っていきたい。
学びの協働推進事業	里芋の植え付け 里芋調理実習 ミシン支援	津和野小学校児童 町内支援者	6月 11月	津和野町内 津和野小学校	0	0	学校からの依頼に応じた支援を行った。 課題：学校と情報交換し、既存の事業とからめながら学びの場を広げていきたい。

## (畑迫公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会の開催	公民館主催及び共催の主要行事について、実施に向けた企画・運営について協議を行った。	運営委員 25名 (地区公民館長18名を含む)	年3回 5月17日 10月5日 1月17日	畑迫公民館	13	13	<p>主要行事について協議を行った。今後も各事業に、地域住民が参加しやすいような内容になるように協議して行きたい。事業については各種団体と連携して行った。</p> <p>課題：事業が集中しないように年度当初の計画を立てる時に行事などの日程を把握しておく必要がある。</p>
公民館だより発行	地区内外の情報や話題を発信した。	地区民	毎月発行 年12回	各戸配布	38	38	<p>行事の様子、写真や、参加者の声、参加者の感想文地域の方から提供いただいた短歌などを掲載した。今年度は10月号より2月号までの4回シリーズで「旧畑迫病院ものがたり」を連載し、情報提供を行った。</p> <p>課題：より一層親しみやすい「公民館だより」になるよう地域的话题を盛り込んでいきたい。</p>
図書事業 (図書の貸し出し) (読み語り)	多様な知識習得の要望に答えるため、図書貸し出し事業を行った。 本に親しんでもらうのを目的に畑迫保育園・津和野小学校で朝の読み語りを行った。	地区民その他  園児・児童	随時  年間 月2回 月1回程	畑迫公民館  畑迫保育園 津和野小学校	3	3	<p>図書の貸し出しは定着している。今年度は140冊の貸し出しがあった。大半は高齢者の方が利用しており、津和野図書館からの移動図書も楽しみにしているので引き続き行っていきたい。読み語りで使う絵本などの児童図書にも利用している。今年度初めて研修会に3名が参加した。今後も研修会には積極的に参加したい。</p> <p>課題：公民館図書の整理が進んでいない。今後、不要な書籍の処分をしていく。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
公民館の講座 (女性学級)	畑迫地区の女性を対象とした学級で、知識や技能の習得、受講生間の親睦と交流を図るのを目的として実施した。カリキュラムの中に人権・同和問題研修を入れている。 ①開講式/フラダンス体験 ②移動研修 ③グラウンドゴルフ ④アートフラワー ⑤音楽で楽しみましょう ⑥料理教室&人権・同和問題研修/閉講式	地区女性 受講生：26名	8月～3月 年間6回  8月3日  9月23日 10月12日 10月26日 11月2日  2月18日	公民館  防府市 なごみの里 公民館 体育館  公民館	61	61	受講生が熱心で活発に行われている。学習内容については、受講生と協議して行い、各教室の担当者を決めているので、協力的で進行等スムーズに行われている。今年度も「生活展」の演芸会にコーラスであじさい児童クラブの児童と、支援員とで出演した。学級生の親睦にもつながり良かったのではないかと思います。次年度も連携した取り組みを行って行きたい。 人権・同和研修会を、毎年行ってきたことで、人権意識の啓発になっていると思う。今後も女性学級の中に組み入れ継続していきたい。 課題：他の公民館の講座などを参考にし学級生の要望も入れながら毎年同じような内容にならないよう、新講座を入れるようにしたい。
公民館の講座 (成人学級)	畑迫地区民を対象とした学級で、知識や技能の習得、受講生間の親睦と交流を図るのを目的として実施。 ①応急手当講習会 ②書に親しむ ③視察研修 ④映画上映	地区民  ①受講者8名 ②中止 ③参加者19名 ④参加者20名	9月9日 中止 3月18日 3月26日	畑迫体育館 中止 邑南町銅山跡 畑迫公民館	27	27	①「応急手当講習会」については、受講された方は大変熱心で今後も行ってほしいとの感想を頂いている。課題：近年の高齢化や、災害等で防災訓練などと併せて重要な講座であると思う。今後も引き続き定期的に行っていききたい。 ②「書に親しむ」は参加申し込みが1名だったため中止した。この講座は高齢者の方が楽しみにしておられたが、年々高齢のため参加ができなくなっている。課題：今のままでは継続は難しいので、中止する方向である。 ③視察研修は、旧堀氏庭園を守り活かす会と共催で実施。堀家が経営した銅山の歴史を学んだ。今後も継続したい。 ④映画上映会は、西予市遊子川地区の地域活性化活動のプレゼンおよび自主制作映画鑑賞。活動の過程も結果も素晴らしく大いに参考になった。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
人権・同和教育	<p>地区民を対象に各機関と連携して、人権・同和問題について取り組んだ。</p> <p>① 人権パネル展 ② 人権研修会ビデオフォーラム「夫婦で部落と闘います」(女性学級と共催)</p>	<p>地区民</p> <p>参加者：29名</p>	<p>11月13日 3月12日</p>	<p>畑迫体育館 畑迫公民館</p>	0	0	<p>関係機関と連携したことにより、公民館での人権・同和教育が取り組みやすくなった。</p> <p>①畑迫生活展の会場でパネル展示を毎年行うことで、地域住民の関心が高まっているのを感じる。</p> <p>課題：アンケートを準備しなかったため、来場者の感想や声を聞くためにも次年度は準備したい。</p> <p>②地域向けの研修として女性学級と一緒にビデオフォーラムを行った。部落差別についてのDVDを視聴した後4班に分かれての討議では各グループとも熱心に話し合いが行われた。各関係者にお手伝いいただき、地域の方が参加しやすいように進め方や内容等を工夫した。</p> <p>課題：気軽に足を運んでいただけるように、さらに創意、工夫し、毎年取り組んでいく必要がある。</p>
家庭教育学級 (0歳児からの教育)	<p>食育「おいしく食べて元気な体を作ろう」 管理栄養士より毎日の食事で必要な栄養や一日の食事の量などの指導を行う。 実習 こんにゃく作り 苺のさくらもち</p>	<p>保護者と乳幼児～小学校低学年の児童</p> <p>参加者：8名</p>	3月20日	畑迫公民館	8	8	<p>2月に行う予定だったが、日程が取れず3月に行った。参加者が少なかったが、参加された方から子どもの食事について見直すきっかけになったとの感想を頂いている。今後も保護者と子どもを対象に「食育」を行っていきたい。</p> <p>課題：日程については事業が集中しないよう配慮する必要がある。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
親子活動事業	<p>①ふるまい推進「はじめての茶の湯」地区内の保育園児と保護者を対象として、伝統文化に親しみ礼儀作法を身につけることを目的として開催。子育て世代の運動の推進と子どもと一緒に体を使って遊び、親子のふれあいを目的とする。</p> <p>②「体を動かして遊ぼう」</p> <p>③「作って遊ぼう」</p>	<p>保育園児と保護者 参加者：16名</p> <p>参加者：7名</p> <p>参加者：17名</p>	<p>10月23日</p> <p>8月7日</p> <p>2月26日</p>	<p>堀庭園屋敷</p> <p>畑迫体育館</p> <p>畑迫公民館</p>	33	33	<p>①「ふるまい推進事業は今年度で3年目になる。地区内にある名勝「堀庭園」で行ったことで、ふるまいを身に付けることと同時に郷土の良さを知ってもらい良いきっかけになったのではないかと思います。</p> <p>②「体を動かして遊ぼう」は参加者は少なかったが、体を動かして遊ぶことの楽しさや重要性を伝えるために、保護者と子どもを対象に今後も継続していきたい。</p> <p>③「作って遊ぼう」は親子で身近なものを使っておもちゃを作り、親子だけでなく参加者と関わって遊ぶことができ良かったのではないかと思います。</p> <p>課題：親子活動は親子での参加しやすい日程を設定するのが難しいが、行事等を把握し、参加者に早めに知らせていきたい。</p>
青少年育成活動の推進	<p>畑迫地域の青少年育成協議会、津和野小学校、津和野中学校と連携し、次代を担う青少年の育成を図る。</p> <p>①子育て講演会「子どもが危ない!」～メディア漬けが子どもを蝕む2～</p>	<p>地区民 保育園児 児童・生徒</p> <p>参加者15名</p>	<p>年間</p> <p>6月25日</p>	<p>地区内</p> <p>畑迫公民館</p>	2	2	<p>ふるさと教育推進事業について「学びの協同津和野エリア協議」を母体組織とし、津和野小学校・津和野中学校と連携し、各種団体や学習支援パートナーの協力要請を行い活動した。</p> <p>①子育て講演会は子どもと電子メディアのへの影響と関わり方について講演会を行った。</p> <p>課題：地域の方の参加が多く、子育て中の保護者の参加が少なかった。今後は保護者に参加していただけるように、働きかける必要があるのではないかと思われる。</p>

②体験活動：美川ムーンバレーで地底王国の探検と錦川鉄道でとことこトレインに乗車した。 ③しめ縄づくり ④とんど焼き 昔の伝承遊びを行う。	参加者 24 名	8 月 28 日	岩国市			②体験活動は畑迫地域の子どもたちの健全育成と子育て中の親子のふれあいや、さらには保護者や家族間の交流になっている。今後も続けていきたい。
	参加者 26 名	12 月 24 日	畑迫体育館			③④しめ縄づくりやとんど焼きなどの地域の伝統行事は、高齢者が指導者となり、異世代交流ができるので今後も継続して伝承していきたい。
	参加者 36 名	1 月 21 日	畑迫グランド			地域の多様な人材を発掘し、子供たちにふるさとを知り、ふるさと愛を育んでもらうような活動を今後も行っていきたい。  課題：後継者の育成が急がれる。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康保持増進活動の推進	畑迫体育連盟、畑迫保育園、声かけ会と連携し、スポーツ行事や生活習慣病予防の観点から料理教室等、地区民の健康保持増進事業に取り組んだ。 <b>体育連盟事業</b> ① スポーツ祭 ② 町内駅伝大会参加 ③ふれあい大運動会 <b>声かけ会事業</b> ④研修会1回「血管を若く保つために、見直そう、生活習慣」 ⑤健康料理教室2回	地区民  参加者：80名 1チーム参加 参加者：100名  参加者：31名	年 間  7 月 24 日 10 月 8 日 10 月 9 日  4 月 27 日	地区内その他  畑迫体育館・グランド 町内 畑迫体育館  畑迫公民館	67	67	①スポーツ祭・健康教室等の実施を通じ、地区民の交流と健康に対する啓発を行った。  今後も更に高齢化、独居化が進行する中で、声かけ運動（友愛活動）を実施し、不安感、孤立感を軽減していく活動として重要である。  ②町内駅伝大会の参加は畑迫地区では伝統があるが、近年参加者不足。I ターンの若者にも参加を呼び掛けた。体育連盟と連携し今後も参加できるよう働きかけていきたい。

<p>⑥男性料理教室 1 回 ⑦健康ウォーク 2 回 ⑧交流グラウンドゴルフ大会 ⑨健康づくり（軽体操）2 回 ⑩モロヘイヤ苗各戸配布 ⑪声かけ会だより発行各戸配布</p>	<p>参加者：14 名 参加者：12 名 参加者：14 名 参加者：80 名 参加者：23 名 参加者：16 名 参加者：17 名 参加者：20 名 苗の配布 140 本 地区住民</p>	<p>8 月 26 日 3 月 6 日 2 月 14 日 7 月 3 日 10 月 30 日 10 月 19 日 9 月 15 日 9 月 29 日 7 月 10 月・12 月・3 月（年間 3 回）</p>	<p>畑迫公民館 " " 地区内（あじさいロード） 美祢市（秋吉台） 益田市（ひだまりパークみと） 名賀地域センタ 畑迫体育館 地区内 地区内</p>		<p>③「ふれあい大運動会」は保育園児や保護者との交流の場となった。 課題：「ふれあい大運動会」は体力づくりだけでなく、地域住民のふれあいの場でもあるので、運営委員会等で協議し、地域で全体で取り組む必要があると思われる。 ④～⑪の声かけ会と連携した活動は、年間を通じて定着している。今後も引き続き継続していきたい。 課題：健康保持増進事業については男性や、働き盛りと子育て世代の参加を促すために、それぞれが参加しやすい時間帯や対象者を絞った内容にすることで、参加者が増えるのではないかとと思われる。どの事業でもいえることだが、車を運転されない高齢者の方は参加したくても出来ない、近くの自治会館などを利用し事業を行うことや、送迎についても検討していくことが急がれる。 声かけ会の活動のひとつである健康診断に、お互い声をかけ合って受診していただくよう、更に取り組んでいきたい。</p>
--	--	--	---	--	--

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地区安全啓発活動の推進	<p>畑迫安全クラブと連携し、地区内の安全保持のため、春秋の全国交通安全運動期間中を中心に交通安全への啓発活動を行った。</p> <p>①交通安全講習会 飲酒運転の怖さについて学んだ 2ヶ所</p> <p>②ミニテント村 2ヶ所</p> <p>③交通安全パレード：地区婦人会と連携</p> <p>期間外においては津和野警察署と連携し、現状認識や犯罪傾向への確認と被害防止への協議を行った。</p> <p>公民館だよりにおいても、警察署からの情報や、交通事故、犯罪防止の呼びかけを行った。</p>	<p>地区民</p> <p>受講者：延25名</p> <p>地区民：18名 (婦人会員)</p>	<p>年間</p> <p>5月19日 5月20日</p> <p>9月26日 9月30日</p>	地区内	0	0	<p>飲酒をするとどんな感覚になるのかを体験してみて、どんなに危険かを理解していただけたと思う。分かりやすい内容で参加者は熱心に受講していた。</p> <p>課題：引き続き交通安全への取り組みを継続して行くと共に、犯罪の多岐多様化や地方への発生が顕著になりつつあり、高齢化、独居化が進む現状にある今日、被害防止に向け、今以上に関係機関との連携を図り、啓発活動を強化していく必要がある。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地域づくり活動	<p>地域づくり団体 「ふるさと畑迫」と連携し、住みよい地域を創っていくことを目的とし地域づくりに取り組んだ。離郷者へ当地の情報発信と交流を行った。</p> <p>① ほたる祭り ② あじさい健康ウォーク ③ 広報「ふるさと畑迫」年間2回 ④ 「ほたる橋」周辺と「あじさいロード」の環境整備活動 ⑤ 「旧堀氏庭園を守り活かす会」との連携</p>	<p>地区民及び地区内外</p> <p>参加数：300名 参加者数：70名</p> <p>参加延べ50名</p>	<p>年間</p> <p>6月11日 7月3日 8月・12月 5月29日 7月25日</p>	<p>地区内</p> <p>堀庭園屋敷 旧畑迫病院</p>	0	0	<p>①「ほたる祭」は地区民に定着し、賑やかに行われた。少数ではあるが、手伝ってくれる地域の若者も年々増えている。</p> <p>②「あじさい健康ウォーク」は地区内外からの参加があり地区内のあじさいを觀賞しながらウォーキングを楽しんだ。実行体制も整いスムーズに行われた。</p> <p>課題：地区民の憩いの場としても、あじさいロードとほたる橋周辺は、草刈と花殻摘みの作業などがある。役員だけでなく畑迫全体で継続していく必要がある。</p> <p>⑤旧堀氏庭園を守り活かす会が結成して2年目を迎えた今年度は、活動を地域全体に広めることを目標に、公民館諸団体に加わって活動してきた。</p> <p>課題：各行事において公民館共催としたが、まだ一体感が薄い。環境整備、学習・研修会への参加やイベントのスタッフとして地域住民を巻き込むような仕掛けが必要と考える。</p>
畑迫生活展	生涯学習や公民館活動の成果を発表する場として、さらには公民館活動やサークル・個人で製作した文化作品の	<p>地区民</p> <p>来場者：120名</p>	11月13日	畑迫体育館	72	72	<p>地域住民の心を豊かにし、日常の生活に潤いと活力を与え、子供から高齢者までが、交流する場として、重要な行事である。演芸会については住民が出演をすることにより、その地区の活性化に繋がる。地域の行事としてさらに活発になるよう各種団体や各</p>

	<p>展示や農産品の品評会に出品することで学習意欲を高めるねらいがある。</p> <p>文化作品の展示・農産物の品評会・演芸会を行った。公民館事業も写真や活動報告等展示した。人権パネルを展示した。</p>					<p>自治会に働きかけ出演を募っていきたい。</p> <p>課題：保育園の保護者を始め若者が手伝ってくれるようになり、今後も若い人に企画の段階から関わってもらえるように、実行体制を考える必要がある。</p>
--	--	--	--	--	--	---

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
高齢者活動	<p>4 単位緑寿会（老人クラブ）の連合会の事務局として活動を支援した。</p> <p>①公民館花壇の整備5回</p> <p>③ 高齢者学級2回</p> <p>③緑寿会連合会グラウンドゴルフ大会2回</p>	<p>緑寿会会員</p> <p>参加者：延40名</p> <p>参加者：30名</p> <p>参加者：19名</p> <p>参加者：20名</p>	<p>年 間</p> <p>4月～10月</p> <p>6月26日</p> <p>7月15日</p> <p>5月27日</p> <p>10月11日</p>	<p>公民館花壇・畑迫グラウンド</p> <p>山口（湯本温泉）</p> <p>広島（平和公園）</p> <p>畑迫グラウンド</p> <p>”</p>	12	12	<p>高齢者は公民館事業において重要な人材である。生きがいのある活動を自主的におこなっているが、活動を継続していくためには、支援が必要と思われる。</p> <p>課題：高齢者の方が生きがいを感じていただくためにも、今後もさまざまな事業を畑迫緑寿会と連携して行っていく必要がある。会員を増やすことが課題。</p>

	④地域老連グラウンドゴルフ大会2回	参加者：21名	6月15日	なごみの里			
		参加者：16名	10月19日	〃			
	④ふれあいスポーツ大会	参加者：19名					
		参加者：32名	3月15日	町民体育館			

(木部公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
公民館報の発行	毎月1回「木部公民館報」を発行し、地域住民に公民館・各団体事業の情報提供を行った。	木部地区住民	毎月発行	木部地域内	0	0	毎月1回木部地域の各戸に配布した。公民館事業はもちろん、各団体などの事業内容を掲載し、地域住民の皆さんに知っていただく。主催・共催事業への参加も促した。  課題としては若い方にも興味を持っていただく文章・構成を考える。
運営委員会の開催	公民館の運営・事業の計画、実施について審議する。	運営委員 (団体長他17名 地区公民館長14名)	4月2日 7月24日 10月16日	木部公民館	42	33	年間事業計画と報告を行い、主要行事である地区民体育大会、すごうた祭り、文化祭の企画・運営について協議を行った。  公民館からの連絡事項・報告等についても連絡を行った。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
女性学級	健康で豊かな心をつくり、親睦や交流を深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町外研修</li> <li>・ 水墨画</li> <li>・ 水墨画</li> <li>・ グラウンドゴルフ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権・同和問題講演会</li> </ul>	木部地区住民 (女性)	年6回 6月～3月  6月2日 7月22日 10月7日 11月4日 10月15日  未実施	木部公民館 下関 木部公民館 木部公民館 津和野道の駅  木部公民館	54	34	受講者同士でどのような講座にするか話し合い、一年の活動を決めた。新しいことに興味を持ち、意欲的であった。 (受講者 22名) 変わった新しい事に興味を持ち、受講生が楽しく実践できた。初めての方も加わり、グラウンドゴルフや、町外研修で交流を深められたように思う。 成果を発表する場として、文化祭で展示を行った。  課題・反省：文化祭展示まで時間がなく、受講生に提出を急がせたように思う。来年度は余裕を持って行いたい。
成人学級	知識や技能の習得を通じて、人と人の親睦を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押絵</li> </ul>	木部地区住民	12月23日	木部公民館	23	5	干支の押絵作りはキットを用意し、簡単にできるものにしたがなかなか難しく、パーツの組み合わせる順番や、柄の合わせ方などを教えていただいた。 (参加者5名)
家庭教育学級 (0歳児からの教育)	講演会等を開催し、子育てに対する認識を深める。	町内	未定		10	0	未実施である。
人権・同和教育	地域への人権意識の関心・向上を目的に。  人権パネル展示	木部地区住民 他(他地区)	11月20日 木部地区敬愛文化祭にて	木部小学校	0	0	①江口いと：人の値打ち ②金子みすゞの世界 ③外国人住民と共に生きる 上記3点のパネルを木部地区敬愛文化祭にて展示。 一室を使い展示をしたが、大きなパネルを展示するパネルが足りず、机の上に並べて置くにとどまったものが数点あり、見づらい箇所があった。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
青少年健全育成と活動の推進	<p>スポーツを通じて青少年と大人との交流の場を広げ、青少年と地域住民の体力の向上を図る。</p> <p>・ふれあいソフトボール大会</p>	木部地区住民 帰省者 他	8月14日	木部小学校グラウンド	0	0	<p>今年は全地区から参加があり6チームで試合ができた。小学生・中学生・高校生や帰省された方の参加もあり、交流できたように思う。</p> <p>(参加者約120人)</p> <p>課題：少子高齢化により、チームを作るのが難しくなっている。</p>
学びの協働推進事業	<p>通学合宿 4泊5日、小学生1年～6年まで希望者ではあるが、公民館を宿舎に寝食を共にし、社会性や自立する心を培う。 また地域ぐるみの子育ても目的とする。</p>	<p>木部小学生 木部地区住民 ボランティア</p> <p>参加児童 木部小学校全校生徒 15人 地域ボランティア 約70名</p>	6月26日 ～6月30日	木部公民館	0	0	<p>小学1・2年生は2泊3日 4～6年生は4泊5日を公民館で過ごす。上級生が慣れていることもあり、1・2年生の様子をよく見ている。</p> <p>事故・ケガもなく無事に終える事ができた。</p> <p>ボランティアはもらい風呂や、宿泊、ご飯の準備手伝いと大変助けていただいた。もらい風呂では子ども達が来るのを心待ちにしているお宅もあり、子ども達との交流の場にもなっている。</p> <p>低学年の保護者の方から、通学合宿の後、以前とは違い自分から食事の片づけをしてくれるようになった。との報告があり、少しずつでも社会性や、自立心が育ってきているのを感じた。</p>
すごうた祭り	<p>盆の行事を通して、地域住民の親睦と、里帰りした人たちの楽しい思い出作り、地域おこし活性化の一助とする。</p>	木部地区住民 帰省者 他	8月14日	旧木部中学校体育館	0	0	<p>年に一回、帰省者と集い、余興などで盛り上がる祭りである。盆踊りの練習をなど事前に準備をした。今年は吹野の安達さんと小学生が津和野踊りを披露してくれた。</p> <p>子ども達が盆踊りに参加してくれて、踊りの輪に入る方が増えた。今年は今までで一番大きな踊りの輪になった。</p> <p>(参加者 約300人)</p> <p>課題：事業費は寄付金により賄っているため、事業費の確保が課題である。伝統ある盆踊りを伝承させなければいけないが、指導者がいないのが現状である。</p> <p>若い人たちが盆踊りに参加できる(しやすい)ように考えていきたい。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
スポーツ関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>木部地区民運動会 木部地区民、保育園児、小学生も参加して、地区別対抗の運動会で、地域の親睦を図る。</li> <li>津和野町駅伝競走大会</li> <li>木部地区バレーボール大会</li> </ul>	木部地区住民 保育園児・小学生	<p>4月17日</p> <p>10月8日</p> <p>8月28日</p>	<p>旧木部中学校 体育館（雨天のため）</p> <p>旧木部中学校 体育館</p>	70	70	<p>木部地区3大行事のひとつで、伝統の行事でもある。地域外からも若い方の参加があり、小学校の先生と共に各地区に入っていた。</p> <p>今年は競技内容を少し見直し、屋内だけれど、走る・動くを意識した内容とした。（雨天用のプログラム）その結果歓声のあがる競技となった。</p> <p>競技・片づけは皆さんの協力によりスムーズに行うことができた。（参加者 約300人）</p> <p>課題：高齢者が増えて、出場出来る競技も限られてきた。会場も屋外ではなく、屋内でしていきたい。との声もでてきた。</p> <p>津和野駅伝への協力はもちろんのこと、体育連盟と協力し、木部から駅伝の選手を選出。木部小学校、津和野中学校にも協力を要請し、駅伝の日は木部での選手出場をお願いする。選手の送迎と準備などを体育連盟と、公民館で協力して行う。一般選手から、小学生・中学生チームを作り、慰労会では異世代選手が交流を持つ場となっている。今年は木部より小学生チーム2チーム・中学生チーム1チーム・一般1チームの4チームが出場した。</p> <p>第54回を数える木部地区の夏の行事。年々選手が減っていき、男女混合チームが増え、女子のみのチームは2チームであった。それでも計11チームの参加となり、勝敗を競った。小学生から大人まで参加し、地域の交流と健康促進を図る。ボールや、用具が古くなり、今年は得点板を修理した。歴史のある行事なので、長く続けていきたい。（参加者：応援・選手含め約150名）</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
木部地域歴史文化財保全活動	郷土の歴史を研究し、石見文化の発祥の地としての誇りをもち、祖先の残した文化遺産を守り、正しく後世に伝え、共に、木部地区の歴史的価値を広く社会に伝えることを目的とする。  御嶽城址登山	木部の歴史を守る会  木部地域住民	年間  11月3日	木部公民館他  御嶽城址	0	0	<p>会員の皆さんは、目立った活動はないが、地道な努力と活動により、木部の史跡を守り続けている。皆さんが集めた多くの木部の歴史に関する資料や、活動をなんとか若い世代に引き継いでいきたいと思っている。</p> <p>課題：会員の減少や後継者がいないのが現状である。 現在会として集まることはないが、木部の史跡などの管理や、語り部として活動している。</p> <p>毎年11月3日に木部にある史跡、御嶽城址登山をし、木部の歴史に触れる機会を設けている。頂上では城址にまつわるお話や、木部の歴史についてもお話が聞ける。 (参加者 33名)</p>
木部地区敬愛文化祭	木部小学校学習発表会と地域の文化祭とを合同で行う。 収穫の秋を祝い、地域の振興と住民の親睦を図る。	木部地区住民 木部小学校・木部保育園	11月20日	木部小学校 木部公民館	0	0	<p>今年木部地区“敬愛”文化祭は70周年を迎え、特別記念公演として、益田糸操り人形保持者会の皆さんをお招きし、人形浄瑠璃を披露していただいた。</p> <p>木部小学校の学習発表会、木部保育園とふれあいの場の皆さんとの合同演技・農産物展や各サークルの展示、バザー、共催行事としてグラウンドゴルフ大会や弓道大会を実施した。農産物は今年は野菜の出来が不安定な中152点の出品があった。</p> <p>今年はポスター・チラシを作り、新聞広告も利用し地区外へ発信をした。そのため、津和野や、日原からも来られ、とても賑やかな文化祭となった。</p> <p>課題：事業費を寄付金によって賄っているため、安定した事業費の確保が課題である。 (参加者：約400人)</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康を守る活動推進	<p>木部地域内の住民で組織し、関係団体組織との連携を保ち、健康の保持増進に寄与する事を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレッシュ体操</li> <li>・健康ウォーク</li> <li>・健康料理教室</li> <li>・特定検診・がん検診の勧め</li> </ul>	木部地区住民	<p>年間</p> <p>3回 10/31、11/28、12/12</p> <p>10月23日</p> <p>12月14日 2月7日</p> <p>随時</p>	<p>木部公民館</p> <p>山口 秋吉台</p> <p>下組集会所 川尻集会所</p>	0	0	<p>健康ウォークは開放感あふれる大自然でしっかりリフレッシュができた。平坦な道でなく、山道で緩やかな傾斜など、足に良い環境でウォーキングができた。帰りに湯田へより、足湯を体験。参加者からは大変喜ばれ、足が軽くなったなどの声もいただいた。</p> <p>(参加者：29名)</p> <p>リフレッシュ体操は男性の参加もあり、館報・ページング放送でも積極的な参加を促した。</p> <p>健康についてのお話もききながら、身体を動かし講師の齋藤康與先生の人柄もあり、楽しく運動ができた。</p> <p>(参加者：延べ24名)</p> <p>各自治会の申込みにより、各自治会館にて健康料理教室を行う。今年度は2つの自治会から申し込みがあり、それぞれ健康保健師と栄養士の方にも来ていただいて、健康についての講習や、相談、料理と健康についてお話や、実演をしていただいた。</p> <p>特にひとり暮らしの方は、ひとりで食べる食事は味気ないがこうして、みんなで食べるとおいしいし、気が元気になると言っておられ、改めて、健康料理教室の意味を考えさせられた。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地区安全啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転者協会と連携して、地区内の安全保持のため、春秋の全国交通安全運動期間中を中心に交通安全への啓発活動を行う。</li> <li>・婦人会と連携しテント村を展開した。</li> <li>・電動三・四輪車講習会</li> <li>・運転免許更新手続き講習会</li> </ul>	地区住民	年間  9月29日  10月26日  2月20日	木部公民館他  堀庭園駐車場 上待避所  中学校駐車場  木部公民館	0	0	<p>春・秋の交通安全週間に街頭指導を行い、テント村を展開して地域の交通安全啓発に努める。 (参加者：8名)</p> <p>民生委員、木部駐在所、運転者協会役員数名にて高齢者電動三・四輪車講習会を行った。危険運転や、交通指導など講習を行い、タコつぼや坂道、車庫入れなど実技も体験した。 (参加者：7名参加)</p> <p>75歳以上の高齢者を対象に、道路交通法改正に基づいた免許更新時の講習会を開いた。新しく変わるところや、料金の変更、試験の時に注意することなどを教えていただいた。参加者の多くが、改正によって変わることは知っていても、具体的なことは分かっておらず、大変参考になったと喜ばれた。</p>
短歌教室	講師の指導により短歌を勉強する。	短歌会会員	未実施	未実施	0	0	講師の方の高齢化、後継指導者がおらず活動休止の状態である。
図書貸出事業	本から学べる事も多く、活字に親しんでもらうための場の提供、貸出を行った。	地区民その他	随時	木部公民館	0	0	<p>年間数冊ではあるが、利用者がおられる。子どもたちも夏休みなどは利用がある。</p> <p>図書費にと寄付を頂いているので、本の充実を図りたい。</p>

## (日原中央公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営審議会	公民館事業審議	審議委員 5 人 館長主事 5 人	6 月 30 日 3 月 16 日	日原山村開発センター 日原山村開発センター	73	73	平成 28 年度事業計画、報告、公民館の果たす役割について審議した。
家庭教育・子育て支援事業	子育て講座 ・子育て講演会	保護者・関係者  30 人	2 月 18 日	日原保育園	20	20	CAP（子どもへの暴力防止プログラム）をまずだCAPに講演いただいた。対象は保護者、関係者に行った。その上で、保育園が園児対象にプログラムを行うことにしている。  年齢別プログラムがあり、年齢に応じて行うことができれば、いじめ等の防止に繋がると思われる。
青少年健全育成事業	夏休み！チャレンジ・ザ・サマー ・やきものづくり  ・水鉄砲づくり ・グラウンドゴルフ ・天文教室、工作教室 ・昔のあそび ・新スポーツ ・絵手紙 ・にちはら地域めぐり	小学生 31 人  19 人 14 人 26 人 32 人 45 人 18 人 24 人	7/21, 22 8/9  7 月 25 日 7 月 26 日 7 月 27 日 7 月 28 日 8 月 2 日 8 月 3 日 8 月 4 日	日原山村開発センター 日原山村開発センター 日原山村開発センター 日原天文台 小杉ヶヶパーク 日原山村開発センター 日小体育館 日原山村開発センター 左鐙 資料館	25	25	地域の達人「ゆうゆうくらぶ」との共催 4 年目。主にゆうゆうくらぶのみなさんに指導していただき幅広い事業展開ができた。夏休み期間に 7 事業を行った。述べ 209 人の参加があった。  児童の人数は減っているにも関わらず参加人数は昨年を上回った。やきものづくり、絵手紙ではりピーターも多く、個性あふれる作品が完成した。天文・工作ではうしのしっぽからの参加もあり有意義にできた。新スポーツでは児童クラブとも共催、スポーツ推進員の協力もあり、ラダーゲッター、ディスクゲッター、ポケットボールの 3 種目をグループ分けして行い大勢でにぎやかにでき、子どもたちにも好評だった。  どの回も熱中症に配慮した。

	子ども安全パトロール見守り隊 ・交通安全教室(日小) ・研修会	隊員(地域住民)19人 12人 9人	活動は年間 5月25,26日 7月5日 その他学校行事	主に通学路 日原小学校 日原小学校	0	0	見守り隊メンバーは年間を通して登下校時、自主的に毎日快く子どもたちを通学路で見守っている。日原小学校交通安全教室にもボランティアで協力し、安全指導にも積極的に参加している。その他、日小不審者対応行事不審者役として参加するなどの協力をしている。児童の減少、隊員の高齢化に伴い隊員が減ってきた。
	ギターくらぶ	小中学生 4人	毎週水曜 夕方	日原山村開発センター	4	4	木部中学校の使わなくなったギターを利用し、日原中学校に文化部がないことから発足し活動5年目。地域行事等に参加することを目的に練習している。いつもは指導者がいない状況で廃部にしようかと思って2年目、今年は中学1、2年生が自主練習で活動することになった。地元の公民館まつりに出演、あいこい交流文化祭は出演予定だった。生徒は来年もレベルアップしてまた参加したいと意気込んでいる。
青少年健全育成事業	ゆうゆうくらぶ支援	メンバー13人	年間	児童クラブ 日原山村開発センター ほか	0	0	地域の達人を結集し「ゆうゆうくらぶ」を発足させ3年目。事務局を日原中央公民館が担当。 児童クラブへの訪問、当館の夏休み事業の指導にメンバーを依頼した。事業の幅が毎年広がっている。 11/16には児童クラブで“クリスマスリースづくり”を行い好評だった。(参加35人)
文化事業	第10回あいこい交流文化祭	一般	(延期) 会議 4月26日	日原山村開発センター	0	0	あいこい交流文化祭実行委員会を4月26日に開催し、山村開発センター耐震工事と諸事情により今年度は中止とし、来年度へ延期と決定した。
	演劇	10人	不定期		1	1	劇団もどきとしてをあいこい交流文化祭で発表することを目標に活動しているが今年度はシナリオ作成で協議。来年度のあいこい交流文化祭で発表することを目的に活動。地域住民から期待されている。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
各種事業	英会話教室	小学生 24 人	月 2 回 月曜日	日原山村開発センター	4	4	ALT ライアンが得意の言語学を生かした進め方を重視。今年度はファイルとテキストを用意。2 人組みになり前に出て英会話を発表。よくできたらスタンプを押すことができるように工夫した。
	環境教育事業	小瀬地域 20 人	6 月 5 日	小瀬地域	0	0	地域清掃行事に共催。
	水彩画教室	一般 5 人	第 2、第 4 木曜	日原山村開発センター	5	5	少人数だが日美展に参加、文化祭にも参加予定だった。
	人権同和教育 啓発事業 人権パネル展	一般 展示	12/1～ 12/13	公民館だより 日原山村開発センター	0	0	公民館だよりを通じて人権について毎回掲載した。 人権週間にセンターロビーでパネル展示、今年度は金子みすずの世界を展示。
各種事業	アロマヨガ	一般 16 人	第 1 第 3 金曜日	日原山村開発センター	13	13	健康・体力づくり教室として今年度からアロマヨガで行っている。4 月から 11 月まで開催。
	フラダンス	一般 6 人	第 2 第 4 木曜日	日原山村開発センター	15	15	健康・体力づくり教室として今年度から試験的に開催。 12 月 11 日の余芸大会に公民館合同チームで出演。
	日原の歴史講座 「日本遺産めぐり」	公民館関係者 19 人 郷土史研究会 6 人	11 月 30 日	左鐙～日原～ 池河～青原～ 資料館	21	21	昨年の「津和野今昔～百慧図を歩く」が日本遺産認定されたことをきっかけにそのストーリーを語る昔と変わらない風景を日原サイド高津川中心に今昔を体感した。津和野町の歴史（副読本）も参考に川に沿って豊地域から青原地域までを下った。今回は地域公民館との学習連携として地域公民館関係者を対象に行った。講師は日原郷土史研究会の皆さん 6 人。
学びの協働推進事業	学校、家庭、地域の連携体制を深めるコーディネーターとしての役割を果たす	日原中学校生徒 町民	年間	日原中学校	0	0	学校のニーズに合わせ。 地域講師相談、先輩講話相談、各種事業の紹介など、地域と学校を結ぶ協力、コーディネートした。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
広報事業	日原中央公民館だより 発行		年4回	日原区域各戸 配布	12	12	手作りで公民館情報、地域の情報を発信している。年4回の発行予定だったが、センター工事中止のため活動ができなくなったため発行を見送った。
共催事業	関係機関団体連携事業  (内容は評価及び課題の 欄に記載)  公民館保険適用	町民・一般	年5回	安蔵寺  日原山村開発センター  ほか	0	0	関係機関とのネットワーク充実、公民館連携ができた。  5/29 安蔵寺ブナ林自然観察会(教委) 20人  8/15 カヌー体験教室 27人  10/10 津和野町駅伝競走大会(教委) 165人  11/3 秋満喫 in 安蔵寺山(教委) 34人  2/12 日原ロードレース大会(教委) 中止

(左鐙公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画、予算、事業実施状況、企画について協議（全3回）</li> <li>・体育部会</li> <li>・運動会運営委員会</li> <li>・文化部会</li> </ul>	運営委員 18名	4月28日 10月30日 12月19日  9月18日 9月25日 10月23日	左鐙公民館 〃 〃  〃 〃 〃	32	27	<p>計画、企画、反省を行うとともに、関係機関の協力を求め事業運営がスムーズに行われたが、女性は夜出席し難い、車が運転できない等出席率が悪いのと、団体の長等充て職であるため年齢が高いので、若者を選任しようと考えている。</p> <p>積極的な事業を展開していきたい。</p>
高齢者学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員を選任し学習内容を協議する。</li> <li>・地域行事への参加</li> <li>・修養講話</li> </ul>	運営委員 16名  地域の高齢者  地域の高齢者	6月9日  年間  8月21日	左鐙公民館    〃	11	11	<p>修養講話は、柿木の報国寺の住職、山崎満徳氏にお願いした。</p> <p>「精神文化について」という題目であったが、行いすべてに愛情が必要なことをご自身の体験や身近な例をまじえての講話が好評だった。参加者34名</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
女性教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員を選任し学習内容を協議する。</li> <li>・手・工芸教室 竹かご作り</li> <li>指編みでスカーフ作り</li> <li>・料理教室 旬の食材を使った手軽にできる家庭料理</li> <li>認知症予防レシピの料理教室</li> </ul>	運営委員 15名	6月9日	左鐙公民館	11	6	料理教室には、左鐙地区在住の管理栄養士、吉田展子先生にお願いした。
		地域住民	4月16日	左鐙公民館			参加者にとっては、孫と同世代の若い先生であつたため、親しみやすく、献立もヘルシーで好評だった。参加者 14名
		地域住民	3月16日	〃			竹かご作りは、昨年度末に行った続編で、完成を目指した。講師は大庭勇さん。参加者 4名
		地域住民	6月11日	〃			指編みでのスカーフ作りは、みな初めての方だったが、慣れれば1時間強で完成し、身につけることができた。参加者 10名
		地域住民	3月22日	左鐙公民館	0	0	2月に各地区健康教室で認知症について勉強したことを踏まえ、町の石川管理栄養士と予防レシピに取り組んだ。少人数でゆったりと指導を受けることができた。参加者 6名
高齢者学級・女性教室研修旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰中央新報製作センター</li> <li>「しんぶん学聞館」</li> </ul>	地域住民	11月21日	出雲市斐川	110	110	今年度も小学校の振替休業に合わせて実施。普段、目にすることのない、新聞の製作センターの見学ができ、参加者からも好評だった。  また、途中、須佐神社を参拝したり、車内からではあつたが、紅葉の立久恵溪を見学することができてよかった。参加者 22名

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
成人講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつり餅つき</li> <li>・男の料理教室</li> </ul>	豊地域住民  地域の男性	11月27日  2月25日	豊公民館  左鏡公民館	11	11	<p>男の料理教室では、食改に講師を依頼。メニューのコロッケがおいしくできあがり、好評だった。男児が1人参加してくれたのが、とてもよかった。年1回の開催だが、男性陣の腕があがってきたように感じる。</p> <p>併せて保健師を招いて血压について指導いただいた。気軽に相談できる雰囲気がよかった。</p> <p>参加者男性9名、食改6名。</p>
スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ大会</li> <li>・グラウンドゴルフ大会</li> <li>・ソフトバレーボール大会</li> </ul>	地域住民 〃 〃	7月2日 3月11日 8月28日	左鏡小学校 〃 小学校体育館	12	12	<p>ソフトバレーボール大会は、小学校校庭の除草作業とセットで開催してきたが、今年度は悪天候につき除草作業が延期になったため中止とした。</p> <p>また、学びの協働事業のひとつとして左鏡小児童、先生と一緒に開催していたグランウンドゴルフ大会は、今年度からGG同好会協力のもと、公民館主催となった。7月の大会では、土曜日に開催日を設定したが、残念ながら子どもの参加が少なかった。参加者16名。3月の大会では、幼児・小・中学生合わせて6人の参加があり、高齢者との交流もできてよかった。参加者17名。</p>
グループ育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大正琴</li> <li>・グラウンドゴルフ</li> <li>・3B体操</li> <li>・ソフトバレーボール</li> </ul>	同好会 同好会 同好会 同好会	月2回 毎週土曜日 月2回 毎週水曜日	左鏡公民館 左鏡小学校 左鏡公民館 小川体育館	0	0	<p>3B体操は、公民館まつりの芸能発表において毎年、会場を賑わしてくれる。今年度、新たなメンバーが加わり、より一層の活動を期待している。</p> <p>大正琴は、年一回の発表会を目標に、技術の向上に励んでいる。</p> <p>ソフトバレーボールは自主グループとして活動。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
左鐙地区民 運動会	スポーツを通じて幅広い年齢層の交流と健康づくりを行う	地域内外住民	10月9日	左鐙小学校	40	40	「山の子ども園 うしのしっぽ」の園児と共に体育館での開催となった。小学生が演じていた鼓笛隊やパフォーマンスを小・中・高校生と20代が中心となって編成し、素晴らしい演技だった。参加者150名。
公民館まつり	テーマ「集い語ろう 楽しもう、世代をこえて」をテーマに講演、作品展示、芸能発表、農産物品評会、バザー、餅まきを行った。	地域内外住民	11月27日	左鐙小学校 左鐙公民館	45	40	有限会社「真砂」代表の岩井賢朗氏をむかえ、『やってみなくちゃわからない～真砂流地域づくりについて』というタイトルで、講演していただいた。同じような中山間地域の取り組みとして、多いに参考になったと思う。  芸能発表では、地元の中学生在が主となったのコントや、9月に転居して来た方のヒップホップライブと、新しいジャンルが加わった。また、昨年度の公民館まつり、運動会に引き続き左鐙小卒業生の20代が中心となったの鼓笛隊では、柳井勇氏の曲「歩いてゆこう」を鼓笛用に編曲して頂き、すばらしい発表となった。若者が公民館や地域活動に参画しやすいようにして継続したい。参加者200名。
子育て事業 (共催事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の育成</li> <li>・カヌー体験</li> <li>・夏休みカヌー宿泊体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成会</li> <li>地域内児童生徒</li> <li>地域内外児童生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間</li> <li>7月22日</li> <li>7月29日～31日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左鐙地内高津川</li> <li>左鐙地区内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3</li> <li>30</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3</li> <li>30</li> </ul>	<p>小学校が閉校になったため、子ども会と共催で公民館事業に取り組んだ。</p> <p>子どもからの要望のあったカヌー体験を左鐙で行うことができた。子ども13名、大人10名。</p> <p>宿泊体験参加者 子ども51名、大人約50名 前年まで学びの協働事業で開催していた川の学習</p>

・川の学習	地域児童生徒、うしのしっぽ学童	8月18日	左鐙地内高津川	0	0	は、子ども会、うしのしっぽ学童と共催で実施し、実際に鮎漁の様子や魚の種類を見て触れて食べて体験することができた。参加者：子ども9名、大人11名
・つり遠足	地域内児童生徒	9月22日	江崎漁港	14	14	釣り遠足は、講師を地元の釣り名人や釣り好きの方に依頼。町のマイクロバスを借りて、以前小学校で行っていたように釣り遠足が実施できた。参加者：子ども9名、大人9名
・クリスマス会&スケート教室	地域内児童生徒	12月23日	サンビレッジ浜田スケート場	16	16	スケート教室では、子ども会が毎年行ってきたクリスマス会と合せて、初めて実施した。残念ながら1名負傷（捻挫）してしまっただが、多数の参加があり、「また来年も」とのコールが多くあった。参加者：子ども17名、大人13名
・とんど焼き	地域住民	1月14日	潮山八幡宮			とんど焼き 参加者約90名。
・ギター体験会	地域内児童生徒、うしのしっぽ学童	3月28日 3月29日	左鐙小学校 〃	12	12	ギター体験会は、使用されていないクラシックギターの存在と、ギターが弾きたいという声、講師が地域にいらしたので、春休みを利用して小・中・高校生を対象に開催。小学生低学年には楽器が大きく難しい面があったが、音色を耳にしたり、本物を触るだけでも良い体験になる。2日間の体験会であったが、また教えてほしいとの声や、大人にも開催してほしいとの要望があがった。参加者21名。
・子ども神楽の育成	子供神楽社中	毎週水曜日	左鐙公民館			子ども神楽社中は他地域から出演依頼を受けることが多くなり、いろいろな場所で舞を披露する機会が増えてきている。大人との交流の場であり、今後も積極的に活動できるよう支援していきたい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
宿泊体験スタッフ研修会 (共催事業)	・スタッフの研修・交流	地域内外住民	6月18日	左鐙公民館	0	0	宿泊体験を安全円滑に行うため、スタッフの交流を兼ねた研修会を開催。参加者80名。
祭りだよ！左鐙に集合！ (共催事業)	廃れた昔のムラ祭りを体感するため、昔の祭り料理、神楽鑑賞、子ども神輿担ぎ、餅まきを楽しむ。	地域内外住民	10月1日 ～2日	左鐙小学校 潮山八幡宮	0	0	準備段階から、地区の10代～20代の積極的な参加が年々増え、30代～60代(親世代)の地域での取り組みを間近で感じることができ、左鐙出身者を含む地域外からの参加者も多く、喜ばれている。悩みは後継者の育成。参加者のべ約200名
左鐙小学校芝生育成 (環境美化活動)	・芝生の管理 ・小学校校庭芝生の除草作業	地域住民  グラウンドゴルフ同好会	5月～10月 9月22日	小学校校庭	8	8	芝生は管理が大切で、共同で散水、施肥、芝刈りを行っている。  特に芝刈りは春から秋に週1回程度必要で大変であるが、芝生の感触には代えがたい。  グラウンドゴルフ、少年サッカーの使用のほか、益田市の団体からも利用があり、喜ばれている。  除草作業参加者 大人35名、子ども7名。
放課後子ども教室	・子どもスイーツ教室	地域内小学生、うしのしっぽ学童	8月23日	左鐙公民館	0	予算は教育委員会より	こどもスイーツ教室は、夏休みを利用して事業を開催。  食改の提案でフルーツ白玉だんご作りをした。  全体的に楽しく作業し、おいしく味わうことができた。  白玉粉を丸める作業ひとつでも、高学年では、ハートの形に作る等の工夫がみられ、低学年が刺激

	・竹馬を作って遊ぼう	地域小学生、うしのしっぽ学童、うしのしっぽ園児	3月29日	京村牧場	0	予算は教育委員会より	<p>を受ける異学年での活動の良さが見られた。</p> <p>また、添加物の含まない手作りのおいしさを味わうことで、食育につなげる活動としたい。</p> <p>参加者：小学生8名</p> <p>「竹馬を作って遊ぼう」は、NPO法人さぶみのと共催で春休みを利用して開催。</p> <p>鋸で竹が切れた時の爽快さを感じたり、縄を結び竹馬を作る作業は、現代の子どもや親世代にとっても身近な作業ではなくなってしまった。</p> <p>多くの子が竹馬に乗ることができなかつたため、日常的に遊びの中にとりいれてほしい。</p> <p>参加者：小学生7名、保育園園児7名</p>
地区公民館事業	横道、一の谷、畳、元郷 盆踊り大会、敬老会、河川一斉清掃、環境美化活動、地区民運動会への参加、公民館まつりへの参加、新年交流会、健康教室、料理教室、研修旅行	各地区住民	年間	各地区公民館 左鐙公民館 左鐙小学校	32	32	<p>今年度も左鐙地区健康を守る会の事業として、各地区公民館で健康教室などを行った他、多彩な活動を行っている。</p> <p>しかし、地区公民館事業がマンネリ化しているようなので、引き続き、現在ある事業へ少し違った内容を取り入れやすくするために、公民館からアドバイスや情報提供をしていく必要がある。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
広報事業	公民館だより、ホームページで、公民館行事などを地区民や地区外へ広報する。	公民館だより ホームページ	毎月 25 日頃発行 随時	地域 地域内外	0	0	公民館だよりについては、今まで同様、写真を多くした内容で地域住民からの評判もよい。  1 月、2 月は有志の寄付によって、その後は本庁舎のコピー機を使用し、カラーで発行することができた。  ホームページの更新頻度を上げる必要がある。
人権・同和問題学習	・各地区健康教室での人権・同和問題学習	各地区民 16 名  12 名  22 名  21 名	2 月 7 日  2 月 12 日  2 月 21 日  2 月 22 日  3 月 28 日	一の谷地区公民館  豊地区公民館  左鐙公民館 (元郷地区)  横道地区公民館  左鐙小学校ミーティングル	0	0	人権・同和問題学習のみでの事業は難しいので、他団体の事業と合同で人権・同和問題学習に取り組んだ。各地区公民館の健康教室では身近な人権問題を取り扱った DVD を上映した。  DVD 「人権を考える！女性とこどもと母親」  DVD 「おひとりさまを生きる」    人権落語と口演会 参加者 30 名

## (須川公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会	公民館の運営、事業計画、事業の実施について審議する。	運営委員 18 人 ・地区公民館長 (4 人) ・社会教育委員 (1 人) ・地区組織代表 (13 人)	4 月 20 日 7 月 13 日 8 月 31 日 10 月 19 日 3 月 22 日	須川公民館	45	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間 5 回開催している。主たる審議事項は、4 月 (年間事業計画) 7 月 (ふるさとの集い) 8 月 (地区民運動会) 10 月 (公民館まつり) 3 月 (年間事業報告) である。</li> <li>運営委員で各事業の実行委員会を立ち上げるので、事前協議・事後報告を行っている。情報共有が出来、円滑な事業展開が図られた。</li> <li>事業の前日及び当日には、実行委員が準備から運営、片付けまで積極的に係わることで、地域全体で取り組む気運が出来た。各事業とも参加者数が約 140 人と多く盛会裏に実施することが出来た。</li> <li>今年度より、健康教室などの実施状況及び今後の事業予定を報告すると共に、公民館・体育館・運動場の利用状況も報告し情報の共有を図っている。</li> </ul>
地区交流会	<p><b>目的</b>：体力づくりとコミュニティの場の提供</p> <p><b>内容</b>： <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽体操</li> <li>・図書貸出し</li> <li>・健康相談・講話</li> <li>・脳トレ</li> <li>・お茶のみサロン</li> </ul> </p>	<p>対象：須川地域住民</p> <p>スタッフ： <ul style="list-style-type: none"> <li>・須川地域運動推進員</li> <li>・須川公民館</li> </ul> </p>	<p>実施時期 4 月～年度末</p> <p>実施回数：月 1 回 1 会場</p> <p>実施時間：9:30～11:30</p>	<p>須川地域内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館 4 会場</li> <li>・地区集会所 2 会場</li> </ul>	24	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度からの継続事業である。健康を守る会と共催で実施している。</li> <li>町主催の養成講座を修了した、地元の地域運動推進員 6 名の協力があるので、地域の参加者も気軽に参加できると大変喜んでいる。推進員はフォローアップ研修にも積極的に参加し、その学びを地域に還元している。</li> <li>地域運動推進員が毎回 3 人～6 人参加し、リーダーとして活動している。地域住民への声かけ、会場の準備や片付け、当日の運営にと積極的に関わっている。参加者は、自家用車の乗り合いで他会場へも参集する。交流の機会が増え、楽しいふれあいの場となっている。</li> <li>状況は、実施回数 12 回、実数 35 人、(内男性は 4 人)、延べ数 146 人である。年齢は、60 代から 90 代で最高齢は 98 歳。 *H27 年度の参加状況は、10 回/年、実数 38 人、延べ数 93 人であった。</li> <li>図書の貸出しは延 10 人/年の利用がある。98 歳の方も必ず利用され、家族の協力で返却も出来ている。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
高齢者学級	<p>高齢者の学びと交流を図ることを目指す</p> <p>【講演会】 2回/年</p> <p>【シニア体力測定】 2回/年</p>	<p>須川福寿会会員</p> <p>会員 45人</p> <p>会員 33人</p>	<p>5月14日</p> <p>11月9日</p> <p>7月19日</p> <p>3月8日</p>	<p>須川公民館</p> <p>須川公民館</p> <p>須川公民館</p> <p>須川公民館</p>	0	0	<p>・今年度は、須川福寿会（老人クラブ）及び須川地域福祉会と共催で実施している。</p> <p>・講演会は2回開催した。</p> <p>第1回： テーマ「支え合いマップで住みやすい地域に」 講師：社会福祉協議会事務局長（参加数41人）</p> <p>第2回： テーマ「健康長寿の里づくり」 講師：益田保健所長（参加数38人）</p> <p>・シニア体力測定は1回目参加者数（16人）、2回目は4名参加。この事業を通して、高齢期の体力づくりと日常生活の過ごし方を考えるきっかけづくりとする。</p>
こども学級	<p>家庭では体験できない活動を通して、親子・地域とのふれあいを図る。</p> <p>・サマーキャンプ(中止)</p> <p>・地元中学生によるボランティア活動</p> <p>・公民館事業への参加</p>	<p>小中学生・保護者</p> <p>中学生・保護者・教員</p> <p>小・中学生住民</p>	<p>7月30日</p> <p>通年</p>	<p>須川公民館</p> <p>須川体育館</p>	10	10	<p>・サマーキャンプは、7月30・31の二泊二日で予定したが、県消防操法大会（7/31）と重なり、保護者等の参加が出来ず中止となった。</p> <p>・7月30日（土）に日原中学校の企画による生徒と保護者のボランティア活動が須川公民館施設で行われ、公民館も一緒に取り組んだ。内容は、須川体育館清掃と公民館周辺の環境美化活動である。地元中学生（3人）、中学校（2人）保護者（2人）が参加。この活動は、昨年度も企画されており、公民館便りで地域の方々に紹介している。地域からも大変喜ばれている。</p> <p>・須川地域には、中学1年生2人 2年生1人 小学1年生1人がいます。公民館事業や地元の行事（ふるさとの集い、体育大会、秋季大祭、公民館まつり等）に積極的に参加している。地域の人々も一緒に子供達の成長を見守りながら、お互いにふれあいを楽しんでいる。</p> <p>・中学生は、小学生の時代から大人の集団の中で学び、その伝統の技（神楽を1人、須川太鼓を2人）を習得している。小学生時代に取り組んだ伝統芸能（相撲ヶ原田植え囃子）も秋祭りには舞う。地域の各種事業に参加して、ふれあうことで、子供も大人も大いに楽しんでいる。併せて、ふるまい向上も学ぶことが出来ている。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
ふるさとのつどい	<p>夏季に帰省される方と地域住民が楽しく交流し、ふるさと発信の場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会開催</li> <li>・ふるさとのつどい</li> </ul>	<p>実行委員</p> <p>地域内外の住民</p>	<p>7月13日</p> <p>8月13日</p>	<p>須川公民館</p> <p>須川体育館</p>	8	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40年以上前から続く伝統行事であり、公民館運営委員会を実行委員会として立ち上げ、自治会等地区組織と連携しながら運営している。</li> <li>・地域外からの帰省者や子供連れの家族、20代・30代の若い人の姿も見られ大変に賑わった。来場者約150人。</li> <li>・地元有志によるバザー、須川の盆踊り、カラオケ、須川太鼓上演、福引で盛りあがった。</li> <li>・まちづくり委員会主催の“すがわロゴマーク”5候補を旧小学校校舎の一室に展示し、参加者が投票（109人が投票）を行い、ロゴマークを決定するイベントも実施。</li> </ul>
須川地区民体育大会	<p>スポーツを通じて地域の交流と健康づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会開催</li> <li>・第64回須川地区民体育大会</li> </ul>	<p>実行委員会</p> <p>地域内外の住民</p>	<p>8月31日</p> <p>9月25日</p>	<p>須川公民館</p> <p>須川運動場</p>	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員長は須川振興会会長とし、公民館運営委員会と共に実行委員会を立ち上げた。</li> <li>・昨年は半日開催であったが、今年は種目を増やし1日開催で実施した。来場者数は約130人であった。</li> <li>・まちづくり委員会、健康を守る会との共催で実施した。新種目、流しそうめん、ロゴマーク入りのうちわ配布、色別のリストバンド配布などに取り組み好評だった。</li> <li>・終了後に全員の集合写真の撮影を行った。例年、集合写真は、記念として全戸に配布し喜ばれている。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
須川公民館まつり	地域の文化祭、講演会、手づくり作品の展示、地区民による芸能発表等を行い、地域の文化交流及び活性化に取り組む。 ・実行委員会開催  ・第39回須川公民館まつり開催	実行委員会  地域内外の住民	10月19日  11月27日	須川公民館  須川公民館 須川体育館	90	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題講演会を開催した。講師は矢野大和さん。地域内外から来場者があり、今回はあゆみの里に依頼し、要約筆記に取り組んだ。128人が聴講した。</li> <li>・芸能の部では、自治会(1地区)、福寿会(老人クラブ)、地域おこし協力隊の演芸、すがわ太鼓の上演、餅まき、福引も行われ、最後に“すがわの和・輪”に振り付けをつけ大合唱で終わることが出来た。</li> <li>・展示の部では、個人やグループの作品、地元小中学生の図画工作等を展示した。小中学生の作品は学校の協力により貸出を受けて展示ができた。地域の方々に紹介できてよかった。</li> </ul>
しめ縄づくり交流会	地域に伝えられる伝統文化の継承を目的とする。	地域住民	12月18日	須川公民館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師は地元住民で開催。参加者10名。</li> <li>・伝統工芸の継承を図る目的で継続する。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
講座	知識・技能の習得、余暇利用、地域住民の交流の促進を図ることを目的とする。 ・ 姫りんごの会（手芸）  ・ パソコン教室	地域住民  地域住民	月 1 回  10 月～ 月 2 回	須川公民館  須川公民館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すがわ地域まちづくり委員会との共催事業で、平成 26 年度から実施している手仕事サークルは、今年度から姫りんごの会として活動している。手まり、羊毛フェルト、こぎん刺し、の作品制作を内容として実施している。</li> <li>・ 参加者は固定されてきている。</li> <li>・ 今後は、男性が参加できる講座も検討する。</li> <li>・ パソコン教室は 3 ヶ月間試験的に開催した。3 ヶ月終了後受講者と公民館、講師とで話し合い継続していく事に決定した。</li> <li>・ まちづくり委員会との共催事業で、講師は地域おこし協力隊のメンバーに依頼した。</li> <li>・ まちづくり委員会の情報発信事業の一環として開催している。</li> </ul>
ふるさと学習	津和野町について学習し魅力を再発見する ・ 津和野めぐり	地域住民	6 月 23 日	町内	10	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑迫アジサイロード、堀庭園、なごみの里、日本遺産センター、安野光政美術館を見学した。参加者 2 2 名</li> <li>・ 堀庭園では畑迫公民館の青木館長さんにガイドをしていただいた。</li> <li>・ 次年度は津和野町の歴史についての学習を企画する。</li> </ul>
防災学習	・ 講演（出前講座） ・ 非常食試食 ・ ワークショップ	地域住民	7 月 19 日	須川公民館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップを行い「大雨の際に気になる場所」「避難する時に持って行くもの」について話し合いを行った。</li> <li>・ 町総務財政課の出前講座で学習し、昼食には非常食を試食した。</li> <li>・ 須川福寿会（老人クラブ）との共催で開催したため、福寿会会員の積極的な参加があった。参加者 1 6 名。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
森林教室	森の恵みを活用してのクリスマスリース作り	地域住民	12月3日	須川公民館	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根森林管理署 日原森林事務所より講師を派遣して頂き、森の役割などを学習し、松ぼっくりやどんぐりなどを使ってのクリスマスリースづくりに挑戦した。</li> <li>・他の行事と日程が重なってしまい、参加できなかった方がいたのが残念だった。 (参加者7名)</li> </ul>
環境美化活動	<p>地域の美化活動を推進し、環境保全に対する意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃品回収事業</li> <li>・公民館周辺の環境美化</li> </ul>	<p>運営委員等 須川福寿会 (老人クラブ)</p>	<p>1月 29日 6月 30日</p>	<p>須川全地域 須川公民館 周辺</p>	10	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧須川小学校がPTA活動として長年取り組んできた廃品回収を公民館が引き継いでいる。</li> <li>・須川地域全体に協力をお願いして実施している。</li> <li>・公民館周辺環境美化活動は須川福寿会（老人クラブ）が取り組んでいる。今年度は、まちづくり委員会の依頼で桐長峠へひまわりの種もまいていただいた。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康を守る会事業	健康づくりや介護予防などについて正しい知識の普及啓発を行いながら、健康の保持増進を目指す。 ・健康ウォーク ・健康教室 ・グラウンドゴルフ大会 ・グラウンドゴルフ交流会 ・室内スポーツ交流会 ・健康パネル展示 ・料理教室 すずめの会料理教室 男の料理教室 婦人学級料理教室	地域住民 地域住民 地域住民 地域住民 地域住民 すずめの会会員 男性 女性	5月22日 7月7日 8月3日 10月26日 7月2日 8月～ 月1回程度 11月27日 1月22日 2月19日 3月12日	山口県美祢市秋吉台 須川公民館 須川公民館 シルクウェイにちはらGG場 須川運動場 須川体育館 須川体育館 須川公民館 須川公民館 須川公民館	22	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度に須川地区健康を守る会を立ち上げた。公民館との共催で事業を実施している。</li> <li>・健康教室は町健康福祉課の支援を受けて開催している。健康づくり計画に沿った取組として、今年度は「食と歯」を重点目標に活動している。</li> <li>・健康ウォークは公民館・健康を守る会・婦人会の共催で実施している。元々は婦人会の研修旅行だったが、今では男性の参加も多い。参加者17名。</li> <li>・グラウンドゴルフ大会、交流会は、花みずき会（グラウンドゴルフ愛好会）の会員以外の参加が少ない。</li> <li>・各事業は、働く世代も参加しやすい日曜日で調整しているが、参加者の固定化となっている。</li> <li>・須川体育館を活用して、室内スポーツ交流会【卓球】を企画した。回を重ねるごとに参加者も増えている。須川地域外からの参加もある。</li> </ul>
健康づくり事業	・講演会 【健康長寿の里づくり】	地域住民	11月9日	須川公民館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師：益田保健所所長 中川先生</li> <li>・福寿会の研修会に合わせて開催した</li> <li>・福寿会・地域福祉会との共催</li> <li>・参加者39名。</li> </ul>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
グループ活動 支援	<p>須川地区内外で活動するグループの活動を支援することで公民館と地域住民のつながりを円滑にし、地域との連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福寿会</li> <li>・花みずき会</li> <li>・和太鼓すがわ組</li> <li>・すずめの会</li> </ul>	地域の高齢者 グラウンドゴルフ愛好会			15	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福寿会は、年2回公民館周辺及び須川運動場の環境美化活動を行っている。</li> <li>・研修会、防災学習など今年度は福寿会と共催での事業を多く実施し会員の積極的な参加があった。</li> <li>・花みずき会はグラウンドゴルフを定期的（月6回）に行い、体力づくりに取り組んでいる。</li> <li>・和太鼓すがわ組は月2～3回練習を続けている。会員は中学生、高校生、社会人で構成されている。地域内外のイベントに出演して活動を展開している。</li> <li>・すずめの会は40歳代～60歳代で構成する須川の女性の会。交流と親睦を深めることを目指している。</li> </ul>
広報活動	<p>地域の情報発信を行い、地域の活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館報【あいらぶすがわ】発行</li> </ul>	須川地域	通年 月1回		0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回館報『あいらぶすがわ』を発行。カラー印刷で活字も大きいので読みやすいと好評である。</li> <li>・公民館の事業だけではなく、地域の行事や、まちづくり委員会の活動なども発信した。</li> </ul>
人権同和教育	<p>人権について理解と認識を深め、人権を尊重する意欲や態度を育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和问题講演会</li> <li>・人権パネル展</li> <li>・館報に人権に関する記事を掲載</li> <li>・地区交流会にて詩の朗読</li> <li>・人権落語と口演会</li> </ul>	<p>地域住民</p> <p>地域住民</p> <p>地域住民</p>	<p>11月27日</p> <p>11月27日 随時</p> <p>月1回</p> <p>3月29日</p>		0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税務住民課との共催で、須川公民館まつりに合わせて人権・同和问题講演会を実施した。講師：矢野大和さん</li> <li>・須川公民館まつりにて人権パネル展を実施。「迷信」「差別」をテーマとし、身近な問題について啓発を行った。</li> <li>・館報『あいらぶすがわ』に人権に関する記事を掲載し、地域住民への啓発を行っている。</li> <li>・地区交流会では人権に関する詩を全員で朗読している。</li> </ul>

## (滝元分館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会	年間事業計画予算、 事業報告決算、事業 についての協議	運営委員 20 人	4 月 21 日 7 月 19 日 10 月 14 日 3 月 29 日	滝元分館	72	72	事業計画、予算について話し合い、事業運営に協力的に活躍した。  少子高齢化が進む中、創意工夫して多くの住民が参加できるよう心がけた。
機関紙発行	「滝の音」発行 65 号	地区	6 月 20 日 12 月 20 日	滝元地域 全世帯配布	0	0	身近かな情報発信等に努めた。
グラウンドゴルフ大会	GG大会	住民 32 人 30 人 30 人 31 人	4 月 24 日 7 月 4 日 1 月 13 日 3 月 16 日	多目的広場 道の駅ルクウェイ " 滝元分館 道の駅ルクウェイ	24	24	スポーツ交流（グラウンドゴルフ）に於いて、昨年に引き続き、参加者が大幅に増え、意見交換ができた。  技術も高まり、喜びを実感してきた者が多くなった。
町政座談会	町長と語る会	地区住民 35 人	4 月 24 日	滝元分館	0	0	町長を囲んで座談会（午後グラウンドゴルフ交流）座談会の前（保健師を派遣し健康相談を行った。）
地域交流事業	日帰り研修旅行	地区住民 26 人	8 月 26 日	日銀松江 松江城	100	100	ふれあい事業として実施。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
第37回夏祭り演芸大会	盆踊り・花火・ビンゴゲーム・カラオケ・演芸等の実施、 バザーに協力	地区住民 帰省者 180人	8月14日 13時～準備 8月14日 19時～	滝元分館	54	54	帰省客を含む大勢の人が集い賑わった。 ※3集落の集いであるが2集落に於いては役員の参加で公民館として機能が薄くなった。
第42回滝元産業文化祭	小運動会の実施 農産物・展示物・芸能発表・バザー	地区住民等 180人	11月20日 11/19 9時～準備 11/21 片づけ	クリーンパ ル広場 滝元分館	40	40	午前はミニ運動会、午後は演芸等、夏祭りよりは参加者が多かった。(枕瀬地区の参加者あり) 高齢化の進む中、さまざまな問題等がある。福引き、りんごの重量当てクイズ、自治会・婦人会・高齢者によるバザーなどもあり盛会であった。
わら細工教室	しめ飾り作り等	地区住民 15人	12月21日	滝元分館	0	0	世代間交流を深め、伝統文化の継承と習得。
竹、藁等細工教室	竹、藁、布細工作り (花かご・果物かご)	地区住民 10人	年間(4月 ～3月)  (5回)	滝元分館	20	20	伝統文化の継承と習得。
人権講演会	人権同和問題学習	住民40人	3月30日	滝元分館	50	50	古今亭志ん八と矢野大和先生の人権落語と口演会。わかりやすく楽しく好評だった。
健康教室	他の事業と公民館事業を 抱き合わせて実施(健康 相談・食品栄養素の勉強 ・ストレッチ体操・料理 実習・ゲーム・百人一首 ・GG大会等)	住民32人 30人 30人 31人 30人 30人	4月24日 7月4日 10月19日 1月13日 2月9日 3月16日	多目的広場 道の駅ルクウェイ " 滝元分館 滝元分館 道の駅ルクウェイ	0	0	今年度8年目の「健康を守る会」事業と公民館事業を 抱き合わせて中味を充実させた。

## (枕瀬分館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会	公民館事業の企画と運営	運営委員 20 人  地区公民館長  5 人	5 月 10 月  3 月	枕瀬分館	60  49	54  49	5 月には 28 年度の事業について協議をし承認を得た。10 月、公民館まつりの実行委員会を立ち上げて企画・運営を行った。29 年 3 月には 28 年度事業の報告のみにとどめた。  課題：滝元分館との統合を機に将来は運営委員選任の見直しの検討も必要になってくる。
ふるさと教育事業	歴史勉強会  枕瀬や日原の歴史を知ることで地域への愛着心を育てる	地域住民  19 人	3 月 29 日	枕瀬分館	5	5	昨年に引き続き、地元の歴史研究家に依頼して枕瀬の歴史を勉強する予定である。今年度は日本遺産～百景図日原編～の内容で開催する。  課題：統合後は滝元地区を含めた歴史の勉強会をやっていききたい。
	ふるさと料理教室  他県出身者の方を講師に、様々な地方の料理を通じてその地方の特色や文化を知る	町内住民	6 月 21 日  9 月 9 日  1 月 25 日	枕瀬分館	25	25	6 月に旬を楽しむ盛り付け教室（参加者 12 人） 9 月に奈良県（10 人）、1 月に長野県（19 人）を開催。  講師はいずれも I ターンで移住してきた方たちである。  若いお母さんが子ども連れで参加があり、世代間交流にもなって喜んでいる。  今年度 4 回を計画していたが、現時点では 3 回までの予定である。  課題：他県出身の講師を探すのに苦勞をしているので、各公民館などを通じて情報提供をいただきたい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
文化伝承事業	はた織り同好会 日原の絹の伝統を受け継ぎ、地域の人・物を活用してはた織りや草木染めをしている。	全町住民 12人	年間90日程度	枕瀬分館 高津川清流館	0	0	会を立ち上げて6年目をむかえた。今年度は町内の公民館（池河分館）での草木染め体験（4月・12月）に協力した。美都町の地域団体、津和野町観光協会からの依頼があり草木染めの指導に赴いた。また公民館祭り・日美展に作品を出展している。  メンバーは自主的に活動し、生きがいにもなっている。活動をしていないメンバーも少数いて、どのようにしていくか今後の課題である。
	陶芸教室 焼き物作りを通じて、親睦を深めその技術の習得に努める	日原地域住民 12人	年間8回	日原中央公民館	5	5	教室を始めて6年目で、自分たちのペースで楽しみながら活動している。公民館祭り・日美展に出展している。今年度は大田市の鴨山窯へ視察・研修に行った。芸術士Rの粕谷さんにも一度指導を仰ぎ、非常に好評だった。  課題：来年度も視察・研修を企画してほしいと声があがっている。視察の成果を今後の作品作りに活かしていきたい。
	囲碁クラブ 囲碁の普及・頭の体操で老化防止を目的としている	全町住民 14人	毎月第一第三金曜日	枕瀬分館	5	5	夏の囲碁大会が定着してきて、益田市からの参加者もあった。8月19日に18人参加で開催。
	しめ縄作り講習会 伝統技術の伝承を目的として実施している	枕瀬地域住民 6人	12月25日	枕瀬分館	5	5	材料はすべて講師の方に持ってきてもらえるので助かっている。参加者が固定化して、しかも少人数であるが伝統技術の継承のために続けたい。  課題：来年度は滝元地域と統合になるので、参加人数は増えると見込んでいる。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康増進関係	健康ウォーク	枕瀬地域住民 23人/16人	5月18日 10月12日	下関 出雲方面	0	0	健康を守る会との共催事業で実施した。 課題：統合後の方向性については検討が必要
	糖尿病予防の勉強会	枕瀬地域住民 27人	5月10日	枕瀬分館	0	0	健康を守る会との共催事業で実施した。 課題：統合後の方向性については検討が必要
	食中毒予防の基礎講座	枕瀬地域住民 35人	6月28日	枕瀬分館	0	0	健康を守る会との共催事業で実施した。 課題：統合後の方向性については検討が必要
	脳卒中予防の基礎講座	枕瀬地域住民 11人	9月23日	枕瀬分館	0	0	健康を守る会との共催事業で実施した。 課題：統合後の方向性については検討が必要
スポーツ交流事業	グラウンドゴルフ大会  スポーツを通して住民の健康維持と親睦をはかる	枕瀬地域住民	未定	未定	10	0	今年度は健康を守る会との共催事業として実施する予定であったが諸事情により実施しなかった。 課題：統合後の方向性については検討が必要

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地域安全啓発事業	救急救命指導と消防訓練	枕瀬地域住民 16人	7月22日	枕瀬分館	0	0	日原分遣所の職員さんを講師にAEDの使い方と心肺蘇生の心臓マッサージの方法などを体験しながら学んだ。  課題：1度きりの開催ではなく、繰り返し体験することで身につけていくので次年度も開催したい。
	防災講話 3年前の大雨被害を教訓として今後の防災を考える	枕瀬地域住民 11人	5月26日	枕瀬分館	0	0	講師は役場の職員に依頼した。3年前の記憶が徐々に薄れていき防災意識が低下していているように感じる。  課題：自治会長の参加がまったくなかったのは残念だ。
	交通安全教室	枕瀬地域住民	2月2日	枕瀬分館	0	0	津和野警察署に講師を依頼して実施。主に道路交通法の改正について話をしてもらった。22人が参加。
環境教育推進事業	グリーンカーテン事業  地球温暖化防止の観点から自宅や公共の建物をグリーンカーテンで体感温度を下げる	町内世帯	4～10月	各世帯	0	0	環境パートナーシップ会議の取組みに協力。ゴーヤの苗や花の種の日原エリアの受け渡しステーションの役割を担っている。各公民館にも呼びかけ協力をしてもらった。町内各世帯でグリーンカーテンの普及をはかり省エネにつなげていきたい。今年度は全町で55世帯の参加。  課題：参加世帯の数を増やすこと。

	夏のエコライフコンテスト 夏の電気の省エネを目的として実施している	町内世帯 73 世帯	6～11 月	各世帯	5	5	環境パートナーシップ会議と共催で5年目となる事業である。今年度は73世帯参加となった。各公民館からも地域に呼びかけてもらったことが参加世帯の増加につながった。
	手作りキャンドル教室 省エネに関心を持ってもらうきっかけ作りを目的として実施している	枕瀬地域住民 12 人	6 月 25 日	枕瀬分館	8	8	全国的に話題になっている夏至のキャンドルナイトに合わせて、手作りのキャンドルを作った。併せて廃油石けんを作り、環境意識の啓発活動につなげることができた。 30～70代のはば広い年齢層の参加がある。 課題：来年度も実施したい事業である。
文化芸術事業	江戸落語公演 桂 歌若独演会	全町住民 29 人	11 月 19 日	枕瀬分館	3	3	年度当初にはなかった事業だが、しまね文化振興財団の全面的なフォローで実現できた。地域のほかのイベントと重なり来館者は少なかった。 課題：広報をもっと積極的にすればよかったと反省している。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
公民館まつり	芸能・展示で日頃の成果発表をしてもらい住民の親睦を深める	枕瀬地域住民 約 160 人	10 月 23 日	枕瀬分館	37	37	高齢化がすすむ中、地域の方たちの協力で何とか続けている。今年は木ノ口神楽の出演でプログラムが賑やかになった。枕瀬子ども会が演芸に出演したりして地域の子供たちが地域の方たちとふれあう良い機会になった。 課題：統合後どのように運営していくのか検討が必要
地区公民館事業	盆行事ととんど焼きに謝礼を支払い支援する	枕瀬地域住民	8 月 14 日 1 月	枕瀬 3 地区 木ノ口 1 地区	26	26	今後は滝元も含めた地域の伝統行事をサポートしていく。
子ども会事業	・公民館まつりに出演 ・公民館まつりのバザー手伝い ・クリスマスリース作り	枕瀬地域児童 保護者	4 月 6 月 11 月 12 月 3 月	枕瀬分館	5	5	左に挙げた事業のほかにも親子キャンプやクリスマス会、6 年生を送る会など計画し実施している。 課題：毎年役員が替わるので連絡や調整が難しい。木ノ口にも子供はたくさんいるのだが数年前に子ども会が消滅してしまい、復活できないものか。統合後は滝元地域の児童も巻き込んで活動をしていきたいのだが、子ども会が存在しないことが壁になることが予想される。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
家庭教育学級 (0歳児からの教育)	保育園・幼稚園でミニエコ講座を実施して幼児期からのエコ意識の醸成	町内園児	年間	日原保育園 津和野幼稚園 木部さとやま保育園 青原保育園	0	0	環境パートナーシップ会議と共催で、町内保育園を訪れ、絵本の読み聞かせやゲーム・クイズなどを通じてエコ意識を醸成する取り組み。  保育園によって環境教育への取り組み姿勢に格差が大きい。  課題：子どもを通じて家庭へのエコ意識啓発にもなっていくようにしたい。
人権・同和教育事業	人権・同和教育の啓発	地域住民	10月23日	枕瀬分館	0	0	公民館まつりで人権パネルの展示をおこなった。金子みすずの詩ははっとさせられるものがあった。
	人権落語と人権口演会	地域住民	3月27日	枕瀬分館	0	0	税務住民課の主催事業に共催して実施した。  天候が悪く、夜の口演でもあり参加者は13人と少なかった。途中雷のための停電があり、中断せざるを得なかった。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
学びの協働推進事業	学校、家庭、地域の連携による学校支援	日原小児童 学習パートナー	年間	日原小学校	0	0	<p>今年は新たに3年生のふるさと学習に学習パートナーさんにかかわってもらった。昨年に続いて地域からの依頼でさんさんサービス（高齢者対象）での小学生との交流を試み、1年生と地域のお年寄りが楽しい時間を持った。戦争体験を語る平和学習も引き続けている。1年生の「昔の遊び体験」では左鑑公民館、池河分館の協力で学習パートナーさんを紹介していただき、人材が固定化しないように気をつけている。</p> <p>課題：学校と地域のかかわりはできるのだが「家庭」がまったく関わっていないことが課題である。</p>
公民館利用促進事業	専用スタンプカードを作り、公民館事業参加の動機付けにする	地域住民	年間		5	5	<p>今年度は事業数が多かったので達成者が増加した。</p> <p>課題：毎年同じ人が達成している傾向にあること。</p>
図書貸し出し事業	日原図書館から雑誌を借り地域の方に貸し出す	地域住民	年間	枕瀬分館	0	0	<p>園芸と健康関連と料理に関する雑誌を常時20冊ほど置いて閲覧をしてもらっている。季節ごとに雑誌を入れ替えるようにしている。</p>
広報誌発行	枕瀬公民館だより「まくらせ」発行		年6回	枕瀬地域世帯各戸配布	0	0	<p>公民館事業の周知・募集・情報発信ができた。</p> <p>課題：来年度からの広報の内容・タイトルをどうするか、運営委員会で図りたい。</p>

## (日原公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
運営委員会	事業内容の運営協議	運営委員 19 名	年 8 回	日原公民館	27	27	年間各事業実施の前に会を開き、内容・運営・参加等の話し合いを実施。委員 19 人中毎回 10 名余の参加で実施できた。
パソコン教室	ワード・エクセルを中心とした教室	3～5 名	毎週火曜日 開催	日原公民館	5		公民館職員 2 名が講師、参加者も津和野町内、商人・日原・滝元などからの参加者があり。スキルも上達した。
ハングル教室	ハングル語会話・歌などに親しむ	会員 5 名	毎週木曜日 開催	日原公民館	5	5	講師 1 名、会員 5 名で会話、歌などを楽しんでいる。自主的に運営している。
広報「かねやま」	活動のお知らせ	約 300 世帯に配布	毎月 1 回	地区内	0		基本的に毎月 1 回発行。 健康を守る会、盆踊り保存会に関することなども載せている。
地区公民館事業	活動への助成	10 地区	年間	地区内	80	80	今年は、全 10 地区が開催。
郷土の歴史	日本遺産めぐり	17 名	5 月 12 日 (木)	徳城往環を歩こう	0	0	日原中央公民館と共催。 津和野百景図の第八十八図徳城峠を郷土史研究会員の案内で歩く。
七夕飾り(鮎まつり納涼飾り)	小学校横の堤防道を七夕で飾る	子ども会など多数参加	8 月 11 日～15 日	日原小学校横堤防道	8		夏の鮎祭り協賛行事として毎年実施している。飾りの笹も 20 本と例年に変わらず実施できた。今回は、2メートルもある色とりどりの吹き流しも飾られ、道行く人たちや花火大会に訪れた人たちの目を楽しませ、好評でした。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
盆踊り	日原地区の盆踊り	約 200 名	8 月 14 日	日小グラウンド	50	50	今年は、天候も良く、日小グラウンドで開催。慰霊祭は中止されたので、黙祷をして始める。盆踊り保存会の唄と生演奏で日原盆踊り、日原音頭、炭坑節が披露され会員や地元の人に交じり、飛び入り参加の帰省客など大勢がやぐらの周りを輪になって踊る。また、大会を盛り上げようと企画された食のおもてなしやじゃんけん大会も盛況。
公民館まつり (ふれあい広場)	日原地区の公民館まつり	約 50 名	11 月 20 日(日)	山村開発センター	80	80	隔年開催。 レクリエーション、笑いヨガ、声の体操で楽しむ。 写真と陶芸の展示。
しめ縄づくり	伝統のしめ縄飾りをつくる	16 名	12 月 23 日	山村開発センター	0	0	しめ縄をつくる活動には、この活動を例年待っておられる方が決まって参加され、指導的な立場で女性や初めての方を指導している。今回は子どもたちの参加があった。
どんどん焼き	高津川河原で、どんどん焼きを実施	約 50 名	1 月 15 日	高津川漁協沖の河原	11	11	各、家々から持ち寄った正月飾りやしめ縄、書き初めを1ヶ所に高く積み上げ燃やし、残り火で焼いたもちを食べ、無病息災を祈る。また、婦人会の協力でふる舞い汁粉を美味しくいただく。10 時点火、11 時 30 分消火。
健康教室	保健師講話と声の体操	19 名 21 名 20 名 15 名 30 名	第 1 回 5 月 26 日 第 2 回 6 月 8 日 第 3 回 9 月 21 日 第 4 回 12 月 3 日 第 5 回 2 月 24 日	山村開発センターと各集会所	0	0	年 5 回開催。 健康講話と声の体操（健康を守る会と共催）。
健康料理教室	健康に関する料理教室			山村開発センター	10		健康を守る会と共催（今年は会場の都合で中止）。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康ウォーキング	健康ウォーキング	28名 47名	①10月16日 ②3月5日	山口方面 下関・門司	8		日原中央公民館・健康を守る会との共催で実施。 ①(SL乗車と芋煮会)、②関門トンネル。参加者も多く好評であった。
健康講演会					0	0	(今年は会場の都合で中止)。
陶芸教室	楽しく土にふれて器づくり。	8名	月1回 第2水曜日 午前中	山村開発センター103室	47	47	お皿・カップ・湯呑・茶碗など自分だけのオリジナルの作品づくりを楽しむ。
写真教室	楽しみながら着実にレベルアップ	5名	第1・3木曜日	日原公民館	25	25	デジタルカメラの使い方、撮影テクニック、撮影会、写真展など。
軽スポーツ	グラウンドゴルフ大会	50名	6月22日・29(水)	シルクウェイ日原G/G場	0	0	開催予定日が2度とも雨のため中止。

## (池河分館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地区公民館長  公民館 運営委員会	公民館の主要事業に向けた、企画・運営の協議	地区公民館長  5人  運営委員  14人	5月21日(31名) 8月5日(15名) 10月7日(16名) 11月18日(9名) 3月25日(18名)	池河分館 池河分館 池河分館 池河分館 池河分館	49   42 42	49   42 42	公民館まつり・防災訓練・球技大会などの協議   会議や事業の参加は少なく、もう少し増え協力もあると有難い。
高齢者学級	地域の高齢者を対象にあらゆる研修及び自分自身の健康維持に関する事業	高齢者 (概60歳以上)	5月9日(16名) ①7月4日 (参加者37名) ②8月30日 (参加者38名) ③11月8日 (参加者44名) ④2月24日 (参加者45名)	池河分館 池河分館 池河分館 (体育館) 池河分館 池河分館	13 30 5 8	12 20 5 6	送迎が必要な方が増える中、送迎バスだけでなく、ご近所さん・お知り合い等で乗り合わせて来られる方もおられ、助け合いがみられ嬉しく思う。また、講座内容をより身近なもの・濃い物にすることで、興味を持たれ、初参加の方も増えてきた。 ①交通安全講座 講師：津和野町警察署員3名(要約筆記者3名) 生活・交通安全関係のお話・体験講座 (反射神経・クイックステップ・運転シュミレーター) ②軽スポーツ(グラウンドゴルフ・パタンク) ③健康増進講座 講師：石川香織 管理栄養士 (大腸がん検診の呼びかけ) 講師：中村晴嘉 健康運動指導士(ロコモ予防) ④健康栄養講座 講師：益田保健所 中永秋奈 保健師 (がんについてのお話) 講師：田中美里 保健師(町の健診のメリット)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
コスモス教室	地域子ども会を対象に遠足研修、又は体験学習・地域に残る伝統文化を研修する事業	・体験教室  どんど焼き	8月20日 参加者19名  1月15日 参加者約50名	池河分館  (体育館・前庭)  池河分館 多目的運動広場	60 46 7	60 5 8	・今年度は思考を変えて、【親子で軽スポーツ&体験学習】を行った。子供も大人初めての体験に驚きと感動を感じていた様子。  ・去年見られなかったお顔が見られとてもうれしく感じたが、豚汁を遠慮されお帰りになられていたので、声をかけてあげたらと思った。
PC教室	講習	地域住民  11名	毎月 第2・4 木曜日	池河分館	0	0	毎月2回、講師1名で行っており、お互いに協力し合い、講師にも積極的に質問をし、公民館で対応できない部分は受講者のお宅でやっている様子。長年続いているのでスキルアップしている。
フォトコンテスト	地域住民の「その時の感動」をテーマに募集	地域住民	6月募集 参加者1名	池河分館	6	4	前年に引き続き開催！テーマも付け分館日より・チラシ配布もしてみたが応募者は増えなかった。
森林教室&クリスマスリースづくり	『森林の大切さ』のお話と『森の恵み』でクリスマスリースづくり	地域住民	11月26日 参加者6名	池河分館	0	0	島根森林管理署 日原森林事務所講師の指導のもと、クリスマス・森の大切さのお話を聞いた後は、植物を使ってクリスマスリースづくりを行った。参加者は少なかったが、楽しんでおられた。
第20回 いけかわ 公民館まつり	公民館事業や日常生活の中での趣味などで活動しているものを発表する	当地域住民総参加	10月30日	池河分館 体育館	60 5 25 40	60 5 25 16	公民館事業での作品展示・地域の皆さんの趣味で行っている絵手紙・てまり・書道・絵画・・・中には、池河地区の今と昔を比較しての写真を展示して下さる方もおられ、昔をよく知る地区の方は思い出話に花が咲き、若い方は、今と昔の違いに驚き、興味をもたれてました。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
健康パネル展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつりでの健康パネル展と健康相談</li> <li>・常時、壁に健康に関する資料の展示</li> </ul>	・当地域住民 総参加	10月30日	池河分館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつり開催時に行ったもの。</li> <li>・健康を守る会が『食と歯の部会』ということもあり、それに関する展示を保健福祉課にご協力いただき保健師には健康相談・血圧測定・体脂肪測定を、歯科衛生士には歯科の相談・噛む力のチェックをしていただいた。</li> <li>・『むし歯予防』に関する資料を掲示中</li> </ul>
池河地区 防災訓練	防災について学びいざという時の意識付け	地域住民	10月30日 参加者 96名 炊出し用員 9名	池河分館 カントリーパーク	0	0	・公民館まつりに合わせて【避難訓練】【炊き出し訓練】を行った。防災グッズの保管などの話も出た。
第43回 地区民 球技大会	日常生活の中で、運動不足になりがちな体を癒す為に、健康増進と親睦を兼ねふれあいを楽しむ。	・地区民総参加と健康を守る会合同	3月19日 参加者 GG 75名 ペタンク 12名 合計 87名	カントリーパーク 多目的運動 広場	20	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年恒例のグラウンドゴルフ大会。・・・でしたが、今回は「ペタンクなら…」という意見を耳にし2種目にしてみると、前年度よりも参加者も増え保育園児・小学生・中学生の参加もあり、大変喜ばれた。</li> <li>前年度 59名⇒今年度 87名</li> </ul>
公民館報の発行	池河分館だより「いけかわ」発行	地域住民	毎月発行 年12回	各戸配布	0	0	分館事業のお知らせ・内容や様子・写真を掲載し地区住民の皆さんに知っていただく目的。もっと目を引くようなものにと、写真を大きく載せたり、文章を短くまとめてみたりと工夫を試みた。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
人権同和に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館だよりへの人権に関する記事の掲載</li> <li>・公民館まつりでのパネル展</li> <li>・古今亭志ん八と矢野大和の『人権落語と口演会』</li> </ul>	地域住民	第7・12月号 掲載 10月30日  3月27日 参加者 18名	池河分館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『差別をなくす強調月間』に合わせて様々な人権のイラスト・人権標語を掲載。</li> <li>・公民館まつりに合わせての【いろいろな人権】【金子みすゞの世界】パネル展示</li> <li>・矢野大和さん・古今亭志ん八（人権落語）</li> </ul> 税務住民課のご協力で開催。 ・少人数ではありましたが、皆さんが笑顔になられ、とても盛り上がった事は良かった。
消防安全教室	救急・防火一般講座 消火器・AEDの取り扱い	地域住民	9月8日 参加者 8名	池河分館	0	0	一般講座として開催で、少人数でしたが興味を持ち熱心に聞いておられた。もっと身近に感じ、関心を持ち、参加人数が増えるようになればと思う。
学びの協働推進事業	学校を中心にした縁による学校支援	地域住民	1月23日	日原小学校	0	0	日原小学校1年児童を対象とした『昔の遊び学習パートナー』として、地域の方に参加していただいた。学習パートナーとしてではなく、公民館事業にもつながるので、地域住民の【得意】なものを発見出来たらな…と改めて思った。
親子わくわく電波教室	親子で電波の仕事等組等の勉強を通じてのふれあい	津和野町内の小4～中3までの親子	6月5日 参加者 8名	池河分館	0	0	野口地区：下森 猛さんの持ち込み企画 町内の各学校へチラシ配布のご協力・テロップ 放送・公民館だより・地区チラシ配布・・・など行ったが、なかなか参加者は集まらなかった。 しかし、参加された方はみな遠方からではあったが、とても楽しんでくれたので良かった。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
いきいき 100歳体操	体力増進・健康年齢を意識してもらい、地域に広める	・高齢者学級 役員	5月9日 参加者12名	池河分館	0	0	池河地区では野地が行っているが、他の4地区でも体力増進・健康年齢を意識していつまでもお元気でいてもらいたく、包括支援センターのご協力のもと、まずは高齢者学級役員さんへの説明紹介・体験をして頂いた。その後、12月より堤田でも行われるようになった。
地区民研修	津和野の歴史を学ぶ	地域住民	3月22日 参加者20名	名賀・畑迫地区	23		木村農園『いちごハウス』でいちご狩り→旧畑迫病院見学では『旧畑迫病院を守り活かす会：青木さん』より歴史と院内の説明を『糧：由井さん』より活動のお話をしていただいた。実際に畑迫病院時代に来られた方もおられ、懐かしがっておられました。→鷲原公園で昼食+百景図と見比べたり、説明を読んだりしましたが、もっと皆さんに説明が出来たらよかったなと準備不足を感じました。
親子料理教室	親子で調理・栄養について学ぶ	津和野町民	8月6日 参加者11名	町内	0	0	夏バテ防止！料理教室 講話：「夏バテ防止の食事」 「お砂糖を摂りすぎていませんか?!」 講師：石川香織 管理栄養士 メニュー ・夏野菜とそばろ丼 ・とまととかきたまスープ ・ゆかりのさっぱりサラダ・ミルクゼリー
スイーツ作りに挑戦	親子・友達と一緒に学ぶ	津和野町民	3月11日 参加者19名	町内	9	9	短時間で簡単にできるスイーツ作りに挑戦。 2月の大雪のため延期になったもの。 講師：石川香織 管理栄養士 清水和子 歯科衛生士 ・歯垢染色液を使ってブラッシング指導と 講話「自分の歯を守るために出来ること！」 保護者さんも一緒にブラッシングをされた。 それぞれの磨き残しが把握でき、歯科への定期検診の大切さを理解していただいた。

## (青原公民館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地区公民館 長、運営委員 会合同会議	公民館行事の企画運営についての協議	地区公民館長 6人 運営委 15人	年3回 5月20日 9月20日 3月28日	青原公民館	101	95	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動方針、事業計画、スポーツ大会等について協議した。</li> <li>・GG・ウォーキング・公民館まつり・研修旅行等について協議した。</li> <li>・今年度の事業報告及び決算状況。来年度の事業計画及び予算案について協議する。</li> </ul>
青少年健全 育成事業	外あそびの会 (アウトメディアの推進・児童の 体力向上)	青原小児童・地 域住民 33人 41人	5月15日 11月12日	青原小校庭	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループに分かれ、校庭と体育館(卓球)で遊んだ。少数ではあるが、中学生・高校生・20代の参加があり活気があった。</li> <li>・炭火を熾してサンマを焼く。かまどでの炊飯、更にはおにぎり作り等を体験。保護者層の参加も多く楽しい会となった。ただ楽しむのみならず、具体的な目的を持った会を開催出来たことは評価でき、毎年開催したい。</li> </ul>
	振替休日 公民館開放 (アウトメディアの推進・自主性の 確立)	青小児童10人 地域住民10人	5月2日	青原公民館	0	0	午前中に小学生がお茶菓子を作り、午後に地域の方を招待しお茶会を開いた。児童と地域住民のつながりを深められたことは評価できるが、大人の参加者が僅少だった。
		青小児童26人 地域住民19人	9月20日	青原公民館	3	3	運動会の振替休日を利用。白ご飯を詰めた弁当箱を持参してもらい、おかずを作り弁当を完成させた。午後は体育館で地域の方とカローリングとペタンクを楽しんだ。競技のルールを理解させるとともに、社会のルールやしつけと供に大人の関わりを理解させることも大切で、成果があったと評価できる。

	子ども編み物 クラブ	小学生4名	毎週日曜日	青原公民館	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動の手芸教室の講師が、地域の小学生から「編み物を教えて欲しい」と頼まれて開講した。</li> <li>・編み物を教えるが、同時に振る舞い等も教えられるところが高齢の講師ならではの。今後も大切にしたい集まりである。</li> </ul>
	どんど焼き	青原小児童 PTA 地域住民 合計90人	1月14日	青原小校庭	8	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、PTAから正式に参加要請があり、餅つきの部分を地域の方々の応援で参加することになった。</li> </ul> <p>保育園のウスとキネをお借りしてヘルスメイトさんのご支援で参加できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAの方も平日は仕事があり、地域住民の支援が必要な部分が見えてきた。</li> </ul>
家庭教育 子育て支援	ぴよぴよサロン (入園前の親子 が集い気軽に話 せる場の提供と 保護者同士のつ ながりを作る)	15人 16人	7月4日 10月4日	青原公民館	0	0	<p>初回は虫除け成分とアロマオイルの資料を用意し、身近な化学物質についての考え方などを話しあった。参加者それぞれの得意分野を聞き、今後のぴよぴよでリーダーとなってもらようよう提案した。</p> <p>2回目はこれまでの参加者の1人にリーダーを依頼した。このような機会が増えるにつれ、孤立しやすい子育て中の母親たちの横のつながりが深まることとサークル活動への展開を期待している。</p>

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
高齢者関係事業 健康増進関係	健康教室 『腸寿のすすめ』 (健康診断受診率向上に対する意識の醸成)	地域住民 11人	1月16日	青原公民館	0	0	・今年度は、がん検診の受診率アップに取り組むことを課題としている。受診申込時期に比べ、開催時期が1カ月遅れてしまったことが今後の課題である。
	いきいき100歳体操(筋力の維持・増強)	地域住民 各回20人前後	週2回	青原公民館	0	0	毎週2回の重りを使用した体操。出席率も高く好評。 「いつまでも元気な自分で」との強い想いが感じられる。 口コミにより新規の参加者も少しずつではあるが増えている。
	健康体操	地域住民 各回20人前後	月4回	青原公民館	0	0	月に4回、100歳体操の後に実施。100歳体操にはない部分を補っている体操。歌なども楽しみにしている方が多く、定着している。
健康増進関係	エアロビクス&ヨガ	地域住民 各回 10~15人	5月~10月 月1回	青原公民館 青小体育館	9	9	昨年度までのいきいきフィットネスをリニューアルした。 平日の夜に実施。前半30分はエアロビクス、後半30分はヨガをする。これまでの参加者に加え新規の方が増えた。
	エアロビクス基礎コース	地域住民 各回 10~15人	6月~10月 月1回	青原公民館 青小体育館	6	6	昨年度までのいきいきフィットネスをリニューアルした。 若年層・親子の参加を促すため日曜日の昼間に設定した。 概して若年層には好評であったが高齢者には少しきつめだったようだ。 対象を絞って内容を検討することが必要。

	健康ウォーク (日頃の体力作りの成果を試す・親睦・交流を深める)	地域住民 35人	10月28日	宇部ときわ公園ウォーキング	4	4	健康を守る会との共催。あいにくの雨模様であったが、楽しかったとの声が多く聞かれた。青原以外の地区からの参加者もあった。人気が高く募集直後に定員が一杯になった。追加のバスを要請した。
スポーツ関係	ふれあいスポーツ大会 (スポーツによる健康増進と親睦を深める)	地域住民 34人 60人	6月26日 10月10日	青小体育館 シルクウェイ日原	14	14	・室内ペタンクを行った。運営委員からの提案で、チーム制で申し込みを受けた。添谷地区から多数の参加があり盛り上がった。 ・まちづくり委員会と共催でのグラウンドゴルフ大会。 他の地域行事と重なったが、小・中・高校生の参加もあり天候にも恵まれて盛会となった。
	校区民運動会 (運動を通じて小学校児童、並びに幅広い年齢層との交流と体力増進)	地域住民 90人	9月18日	青原小学校体育館	3	0	雨天のため体育館での開催。これまで体育館での開催時には地域の方はあまり参加されないと聞いていたが、今回は多数の方が出場と応援に来られた。今年度の反省点をふまえて更に来年度は充実した大会としたい。
	公民館 各種講座	地域住民 各回4人	月2回	青原公民館	5	5	毎月必ず実施してきた講座である。新規の参加者もあり、気軽に来られる場になっている。 内容を更に工夫して来年度も引き続き活動を進めたい。
	手芸教室	地域住民	月3回	青原公民館	0	0	生涯学習の場として、毎月必ず実施しており定着している。メンバーの固定化・高齢化しているため、新規メンバー増員が課題。
	舞踊教室	地域住民 各回4人	週1回	青原公民館	0	0	長い間続いてきた活動であり、自主的な運営がされている。やはり、メンバーが固定化し高齢化しているが、「いつまでも元気に学ぶ」最高のお手本である。

	水墨画&てんこく教室	地域住民 10人	6月30日 7月26日 8月23日 9月29日 10月26日	青原公民館	5	5	定員10名で公民館まつりへの出展を目指す全5回の教室。自宅で復習される方もあり、各回とも参加者全員がやる気にあふれていた。仕上げた作品は、念願の公民館まつりに展示。さらに日美会へも出展した。 次年度も続けて欲しいとの声が多数あった。更に内容を講師と検討して続けたい講座
	男の料理教室	男性住民 8人  11人	8月30日  11月29日	青原公民館	6	6	健康を守る会との共催事業 ・初回は「夏バテ解消料理」栄養士による講話後に夏の疲れを癒すメニューの調理を開始。楽しく進められた。 ・2回目は「生涯骨太料理」血圧・体脂肪の測定の後保健師・看護師による健康教室後に料理開始。今回は女性も参加できると案内し、ご夫婦での参加もあった。
青原公民館まつり	地域文化の紹介と世代間住民の交流をはかる。	地域住民	11月20日	青小体育館	43	43	地域の方の出展作品 8団体15個人、作品延約160点 地域の方の出演 7団体 3個人 延出場者 24名 バザーの部出店 4団体 地元太鼓グループの不参加もあったが、午後3時頃まで盛り上がり、盛会だった。 また、展示作品の出展者が前年の数倍であった。
学びの協働推進事業文化・伝統継承等事業	青原小町探検	青原小児童 2年生4人 地域施設 9か所	5月28日	青原地区内	0	0	青原小学校2年生の授業の一環で駐在所・保育園・郵便局・木工会社・お寺などの青原地区内各所を訪ねた。児童が地域について知ることのできる良い機会なので、学校と協力しながら地域の方の協力を得て今後も進めていきたい。

	スキー教室インストラクター	2月10日 講師4人	12月19日	青原小学校	0	0	小学校より講師要請の希望があり、公民館で人選・参加確認をして4人を紹介。
	昔あそび交流会	地域住民より 10名	3月3日	青原小学校	0	0	小学校より要請があり、チラシを作成し2回配布募集をした。さらにページング放送を2回実施し10名の地域の方が参加された。
人権同和教育	人権パネル展示	地域住民	11月20日	青小体育館	0	0	人権啓発推進センターより借り受けた人権パネル「金子みすゞの世界」を公民館まつりにて展示した。  人権同和教育について、今後も少しずつ目に触れる機会を増やしていきたい。
	人権落語と口演	地域住民 41人	3月27日	青原公民館	0	0	税務住民課と共催。矢野大和さんと古今亭志ん八さんによる「人権落語と口演会」。  公民館通信とチラシ、それぞれ2回配布し、ページング放送も実施した。
	講演会への呼びかけ	地域住民	12月3日		0	0	中学校人権集会での講演会「ちがいを認めて共に生きる」の講演会への参加をページング放送にて案内した。  公民館が人権教育に取り組んでいることをしてもらい、目や耳にする機会が増えればと考え実施した。
広報事業	公民館通信発行	地域住民 全戸配布 296戸	毎月		0	0	新聞紙上における社説部分の割合が僅少であれば、館の論評部分を極力削減した。公民館に対する認識を更に深めていただくため、地域住民の方の話題をメインに「匠シリーズ」を展開してみた。今後も地域住民の方々とながりが深まる公民館通信「つながり」としていきたい。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
その他 全体	研修旅行	地域住民 39人	3月19日	東広島酒蔵 呉大和ミュージアム他 広島平和記念資料館	100	100	東広島酒蔵通りの散策は3軒の蔵元をボランティアガイドで見学。ゆめタウン呉付近で各自昼食後、大和ミュージアムを見学。  その後、広島平和祈念資料館を見学のあと、集合写真を撮影し帰宅。  休日のため、混雑がひどく昼食のとり方も見直しが必要。
	イチゴ狩りと 津和野めぐり	地域住民 30人	3月26日	津和野町内	21	21	運営委員からの提案もあり、名賀地区の農園でイチゴ狩りを堪能。キヌヤ津和野店で昼食を購入し津和野コミュニティセンターの和室で昼食と周囲の散策。その後、安野光雅美術館でプラネタリウムへ。  美味しいイチゴと津和野を堪能できた。9時出発15時前の帰宅でゆとりもあった。
	図書貸出し	地域住民	随時	青原公民館	6	6	周知されつつあり、貸し出しも増えている。要望のあるジャンルのほか人権同和問題・環境問題等に関する本を目に入るように一緒に並べている。借り換えを楽しみに待つ方も多いが、読者が固定されている。  広くPRしていくこと、本の選定がこれからの課題である。

## (商人溪村分館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
地区公民館 長・団体長会議	公民館主要行事の 実施に向けた企 画・協議	地区公民館長  3人  運営委員  13人 (団体長含む)	4月10日 5月13日 6月15日 7月31日 8月26日 12月11日	程彼 商人 程彼 商人 商人 商人	3	3	27年度事業報告・28年度事業計画、主要行事である研修視察旅行、納涼盆踊り大会、敬老の日ふれあい大会、どんど焼き、などについて協議を行った。
研修視察旅行	研修及び視察を通 じ親睦を深める	地区住民30名	7月18日	大田市	30	30	鶴寿会・福祉会・子ども会との協議で個人の費用負担で実施。
納涼盆踊り大 会	地区民及び里帰り 者との交流・親睦	地区住民・里帰 り者 100名	8月14日	程彼	35	35	地域福祉会との協賛事業で新盆者に対する黙祷を実施。
敬老の日ふれ あい大会	地区民及び高齢者 とのふれあい	地区住民・高齢 者 36名	9月19日	商人	15	15	多くの高齢者に参加頂いた。
どんど焼き	伝統行事の継承	子ども会・鶴寿 会・地区民  32人	1月9日	商人	5	4	地域住民の交流の場となった。
料理教室	料理実習と健康管 理の学習	地区住民	3月4日	商人	0	0	地域包括支援センターとの協賛で健康に関して、情報の共有が出来た。
広報活動	不参加者の皆さん にも実施行事の伝 達を行う	3回発行	年間	地域内	0	0	3回の発行が出来た。

## ○人権・同和教育事業

(単位：千円)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
町人権・同和教育担当者会	小・中・高等学校の連携強化や取り組み状況等の情報・意見交換の場として実施する。	教委、小・中・高教職員	6月14日 8月2日 (研修会) 2月7日	日原小学校 山村開発センター  日原小学校	0	0	主は学校の人権・同和教育担当者の会であるので、教育委員会担当者は町行政の担当者として町同対協担当者と共に関わる。会の内容は、研修会の企画及び立案が主。学校人権・同和教育の推進のため、担当者のレベルの向上とともに、協議する場が定着していることにより、児童・生徒を指導する上で学校間の差が少なくなっている。 課題：回数が少ない。
新転入教職員 人権・同和教育 研修会	新転入した教職員を対象に、同和教育研修会を実施する。	教委、教職員	8月19日	町民センター 寺田集会所	0	0	同和地区の実態を同和地区出身者が語られているDVDを視聴することで学び、その後、地区内の集会所（同和対策事業で建設）に行き、実態を目と体で感じる研修会を行った。教職公務員として、同対審答申に記載されている「責務」をしっかりと認識してもらうことができた。 課題：同和地区の実態を学習するが、学校人権・同和教育の推進にどう役立てるかが課題である。人権・同和教育担当者会との連携も考えて行く必要がある。
その他研修会 等 人権・同和教育 及び対策事業	町内人権・同和教育研修会の開催と県同和教育推進協議会、石西地区人権・同和教育研究協議会、町人権・同和対策推進協議会等が開催する研修会との連携	町民 教育委員会 教職員	(石西人同研) 8月18日 (いのち愛人権展) 12月4日～12日 (同対協講演会) 10月19日 11月27日 12月3日 2月6日 3月12日 3月27日～30日	益田市   町内	260	247	町民対象の研修会を開催することにより啓発活動の推進を図った。また、個人の資質向上のため、石西人同研、いのち愛人権展等研修会へ参加することにより、他市町村の取り組み状況が参考になった。  課題：参加者が固定化しているため、より多くの人に参加できるよう工夫が必要である。

## ○図書館事業

(単位：千円)

(津和野図書館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
成人読書会	読書の楽しさを知り交流を図る	読書会（現在2組）のメンバー	毎月1回	津和野図書館・津和野公民館	0	0	様々なジャンルの本に触れる機会作りに取り組んだ。
合同読書会	講師を招き、読書の楽しさを知り会員同士の交流を図る	読書会（2組）のメンバー	3/5	森鷗外記念館	0	0	山崎館長を講師にお招きして、読書を通して会員の交流を図ることができた。また、10年ぶりの合同読書会で会員に喜んでいただけた。会員だけでなく、興味があればどなたでも参加できるように広報活動をした方がよいのではないかと思った。
広報掲載	新刊の紹介	町民	月1回町広報		0	0	書名他を5冊程度掲載している。
夏休み事業	図書館利用を促す  読書感想文課題図書コーナー設置	児童	お話し会 8/4  夏休み中	津和野図書館和室	0	0	七夕のお話を数点読み聞かせし、短冊にそれぞれの願いを書いた。広報活動を積極的に行っていきたい。  課題図書や児童書がよく借りられた。読書感想文を書く支援ができた。
冬休み事業	図書館利用を促す  クリスマス絵本・児童書コーナーの設置	児童	お話し会 12/26  12月中	津和野図書館和室	0	0	クリスマス絵本や関連図書の展示により、利用者の興味関心を惹き、本がよく借りられた。
西部読書普及センターの利用	除籍雑誌の処理・利用者への放出	町民	年3回 (7月、11月、3月)	津和野図書館	0	0	県立図書コーナーを設置し、蔵書にない団体図書を借受けすることで、利用者の読書の幅が広がった。また定期的に団体図書の入れ替えをすることにより、利用者に新鮮さを与え、本への興味関心を惹くことができた。
乳幼児健診読書支援活動	絵本と図書館利用を促す	乳幼児と保護者	年4回 (7月、8月、9月、11月)	津和野町民センター、障害者福祉センター	0	0	ブックスタート事業についてのお知らせと絵本の配布、よみきかせ、図書館の利用案内を行った。保護者の方に喜んでもらえた。また、これからの図書館利用の促進につながる活動ができた。

## (日原図書館)

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
子どものつどい	読書・物語の楽しさに触れる 地域開催と定例外部公演	幼児・児童と保護者 延べ人	定例5月22日 外部公演 11月14日 200人	青原善正寺 日原山村開発センター・幼花園	150	108	外部公演は例年どおり好評であった。観劇体験を幼少時から重ねる重要性を認識した。定例のつどいは年一回となった。少子化で参加数は減となったが保育園・小学校との連携を働き掛けたい。
夏休み事業	図書館利用を促す、未利用者の開拓 「ブックトークおはなし会」 「耳で聞くおはなし会」	児童 延べ27人 大人2人	7月22日、 7月29日 7月28日	日原中央公民館内 日原小学校	6	6	「ブックトークお話し会」は様々なジャンルからの本の選択による紹介ができた。課題の終了後実際の本利用につなげることはまだ不十分なのでより工夫の余地がある。 「耳で聞く・・・」は児童クラブの子どもたちが多数参加した。どちらの事業も語り手も経験を積みより慣れ児童との一体感が高まっている。また興味のない子の参加を増やすことも課題。夏だけでなく冬か春休みも検討。に青原小児童の参加増加について工夫を検討する。
広報活動	新刊の紹介	町民	月1回町広報	全町	0	0	書名他を5冊程度掲載している。
	図書館だより発行		7月 10月		12	12	2回発行。後半にかたよらないよう夏にだせたのはよかったが3回は出したい。
親子読書会	乳幼児からの読書支援・読み聞かせ普及として読書アドバイザーによる研修会	乳幼児と保護者 10月22日大人1人 子供2人	10月22日	津和野コミュニティセンター	0	0	設定日が悪く参加者が少なかった。早めに決めたがほかの予定が出そろわないデメリットがあった。まだまだ改善して手ごたえのある会にしたい。
乳幼児健診 読書普及	赤ちゃんからの読み聞かせ普及として健診待ち時間に読み聞かせや絵本紹介を行う	健診参加の乳幼児・保護者	4月7日 5月12日 6月30日 10月13日 12月21日 1月19日 2月23日 3月16日	やまびこ 枕瀬公民館等	0	0	読書アドバイザーさんと読み聞かせや絵本紹介を行うが、知識・と経験をさらに積む必要がある。保護者への説得力を身につけたい。健診対象者向けの赤ちゃん絵本の量を増やす必要がある。

事業名	事業の目的・内容	参加対象等	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
よみきかせお話し会	図書館利用者の開拓 乳幼児読書普及	乳幼児と保護者 12人	6月25日 7月23日 9月24日	山村開発センター ロビー	0	0	将来図書館移転で保育園児・保護者の利用減が予想されるので利用の掘り起こしと定着を意図しておこなった。興味のある少数の利用者を大事に育てる重要性を感じた。
雑誌・古本放出コーナー	図書館来館・利用促進	利用者	8月18日	山村開発センター ロビー	0	0	利用者が楽しみにしている。適時に行いたい。

○日原図書館建設事業

(単位:千円)

事業名	事業の目的・内容	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価及び課題
日原図書館建設事業	日原図書館建設のため、基本計画策定業務を行う。	12月～3月	日原図書館建設 予定地	2,430	2,430	日原図書館建設のための基本計画を策定することができた。今後、建設に向け基本設計・実施設計を粉う必要がある。